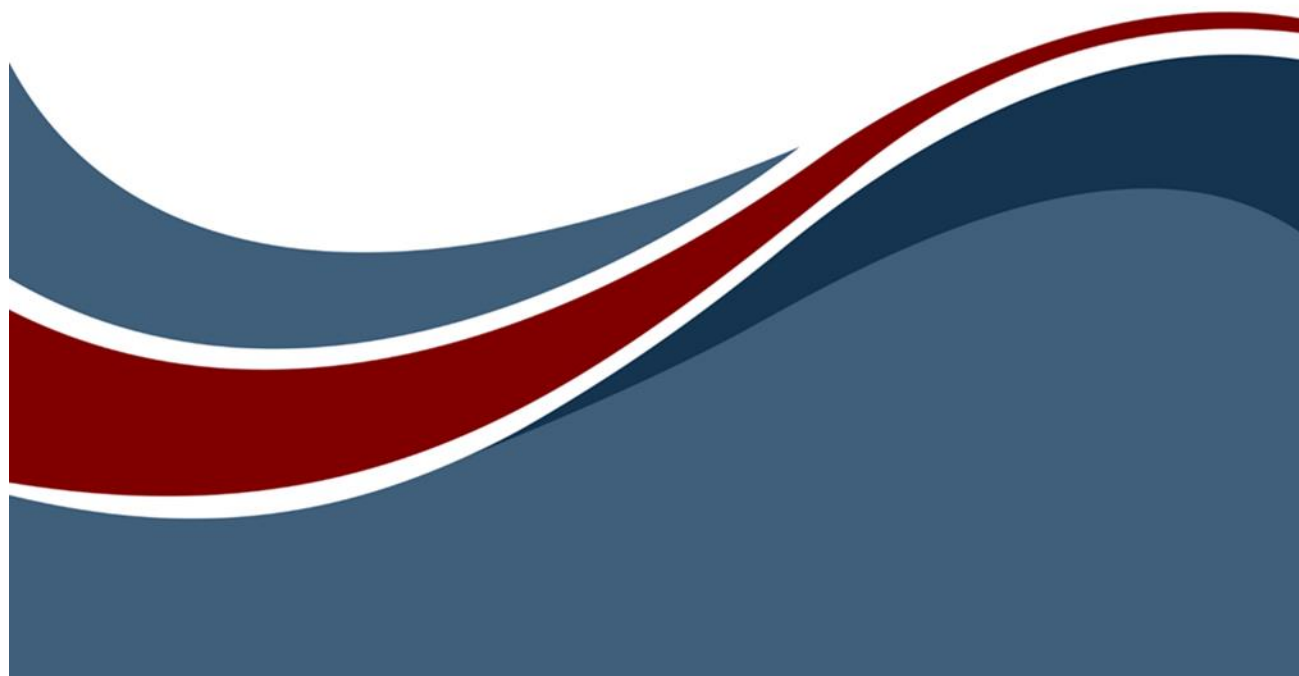




インストールガイド



GENESYS インストールガイド

 GENESYS™ は、GENESYS の製品群を示す Zuken Vitech の商標または登録商標です。
GENESYS のライセンスおよび権限管理部分は、次の 1 つ以上の著作権に基づいています：
Sentinel® EMSaaS、Sentinel® LDK。Copyright © 2024 Thales。無断複写・転載を禁じます。

Sentinel® は Thales の登録商標です。Microsoft、SQL Server および Windows は Microsoft グループの商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

注意事項：

- ◆ 本書内の全部または一部を無断で複製・転載することは禁止されています。
- ◆ 本書には、機密情報および当社事業活動に有用な技術情報が含まれており、第三者への開示、提供、または利用させることも禁止されています。
- ◆ 本書の内容は、予告なく変更することがあります。
- ◆ 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、お客様が本書に基づきシステムを運用された結果につきましては、直接または間接に生じた、いかなる性質またはいかなる原因の損失・損害に対しても一切の責任を負いかねます。
- ◆ 本書に定められた使用方法以外の方法では使用しないでください。本書で定めている以外の方法で使用了場合には、当社は一切の責任を負いません。

Copyright © 2009-2025 Zuken Vitech Inc. All rights reserved.

Restricted Rights Legend

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions as set forth in the applicable GENESYS End-User License Agreement and in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7013 or subparagraphs (c)(1) and (2) of the Commercial Computer Software - Restricted Rights at 48 CFR 52.227-19, as applicable, or their equivalents, as may be amended from time to time.

和文発行日：2025 年 5 月

目次

はじめに.....	1
GENESYS の概要	2
GENESYS	2
GENESYS Pro	2
GENESYS Server	2
GENESYS ライセンスオプション	3
ネームドライセンス	3
フローティングライセンス	3
ライセンスについて	3
全体の流れと運用別インストール手順	5
全体の流れ.....	5
GENESYS Pro/GENESYS のみ導入し、スタンドアロンでインストールする場合.....	5
GENESYS Server を導入し、クライアントサーバー構成でインストールする場合	5
ステップ 1： GENESYS 2025 のインストール	6
GENESYS 2025 のインストール	6
コネクタのインストールが必要な連携機能	11
GENESYS Server（オプション）のインストール.....	12
GENESYS License Manager のインストール	24
ファイアウォールの例外作成	25
ステップ 2： GENESYS 製品のライセンス	27
GENESYS ライセンスをアクティベートするための準備	27
GENESYS ライセンスをアクティベート	29
GENESYS Server ライセンスをアクティベートするための準備とアクティベート	31
フローティングライセンスを使用する際の設定.....	32
ステップ 3： GENESYS を始める	34
ローカルリポジトリへのログイン	34
リモートリポジトリへログインする前の GENESYS Server の確認.....	36
リモートリポジトリへのログイン	38
サポート.....	40
最新のサービスパックを確認する	40
GENESYS ヘルプ	40
サンプルソリューション	40

GENESYS インストールガイド

リポジトリ接続エラーの対処	40
障害対策/復旧	41
GENESYS Server のバックアップ/データ復旧	41
GENESYS バージョンアップの手順	42
GENESYS のアンインストール	44
問題の報告/製品の提案	44
付録	45



CUSTOMER RESOURCE OPTIONS

Supporting users throughout their entire journey of learning model-based systems engineering (MBSE) is central to Vitech's mission. For users looking for additional resources outside of this document, please refer to the links below. Alternatively, all links may be found at www.vitechcorp.com/resources.



[Webinars](#)

Webinar archive with over 40 hours of premium industry and tool-specific content.



[Screencasts](#)

Short videos to guide users through installation and usage of Vitech software.



[A Primer for Model-Based Systems Engineering](#)

Our free eBook and our most popular resource for new and experienced practitioners alike.



[Help Files](#)

Searchable online access to Vitech software help files.



[Technical Papers](#)

Library of technical and white papers for download, authored by Vitech systems engineers.



[MySupport](#)

Knowledge Base, Exclusive Webinars and Screencasts, Chat Support, Documents, Download Archive, etc.

はじめに

このガイドでは、GENESYS を始めるために必要な 3 つの手順を説明します。

- ソフトウェアのインストール
- GENESYS ライセンスのアクティベート
- GENESYS の起動

GENESYS のインストール、ライセンス、トレーニングに関してのお問い合わせは、図研サポート窓口
(<https://support.zuken.co.jp/global/>) までお願いします。

GENESYS の概要

GENESYS は、実証済みの STRATA 方法論とエンタープライズ対応のアーキテクチャにより、モデルベースシステムズエンジニアリング（MBSE）をプロジェクトチーム全体で一貫して行う機能を提供します。GENESYS はオープンアーキテクチャツールであり、複雑なシステムズエンジニアリングの問題に対するコンテキストドリブンモデリングを実現します。

GENESYS

GENESYS は GENESYS のクライアントにおける基本プログラムです。

豊富な要件管理機能、包括的なアーキテクチャ解析、検証および妥当性確認、オンデマンドのドキュメント作成など、便利で柔軟性のある機能を提供します。

GENESYS Pro

GENESYS Pro は、GENESYS の全機能を統合し、Unified Architecture Framework® (UAF®) 1.2 とサードパーティ ツールへのコネクタを包括的にサポートしています。また、チーム全体の視点から分析を可能にする機能など、個人で作業する場合も、共同チームの一員として作業する場合も、機能と柔軟性において究極の答えを提供します。

GENESYS Server

GENESYS のオプション製品です。

大規模で複雑なデータが多い設計では、GENESYS Server をリモートリポジトリとして追加することで、GENESYS と GENESYS Pro のユーザーが、同時に 1 つのリポジトリで作業を行うことができます。

GENESYS ライセンスオプション

プロジェクトチーム内や組織全体で GENESYS を使用するための様々なライセンスオプションがあります。ライセンスは、GENESYS とともにインストールされ、サービスとして実行される Sentinel License Manager によって管理されます。

ネームドライセンス

「ノードロック」または「ローカルライセンス」と呼ばれるネームドライセンスは、ライセンスがユーザーと 1 対 1 の比率である場合や、チーム全体で GENESYS を常に利用できる環境が必要な場合に最適です。

各コンピュータは、一意の ID によって識別され、ライセンスはバックグラウンドで実行されます。しかし、ライセンスを他のコンピュータで使用することができません。

ライセンスは別のコンピュータに移動することができますが、その際に料金がかかる場合があるため、まずは図研サポート窓口 (<https://support.zuken.co.jp/global/>) までご連絡ください。

フローティングライセンス

フローティングライセンスは、1 人が複数のコンピュータを使用する場合や、ユーザーグループ全体で同時接続が必要な場合に最適です。

ネットワーク対応ライセンス - ネットワーク対応ライセンスはネットワーク全体でライセンスを共有できます。Sentinel License Manager は、マシンでアクティブ化されたフローティングライセンスをホストします。すべての GENESYS ソフトウェアとともにインストールされ、これらのライセンスを同じネットワーク上の他の GENESYS で使用できるようにします。フローティングライセンスを GENESYS がインストールされていないマシンに置きたい場合は、GENESYS License Manager をホストマシンにインストールする必要があります。

ライセンスについて

GENESYS のライセンスは、3 つのパートに分かれています。

GENESYS Client - GENESYS のアプリケーションを起動する際に消費されます。

GENESYS Service - GENESYS Services Host を使うときに消費されます。

GENESYS API - 外部 API プログラムを実行する際に消費されます。

使用するサービス

GENESYS を起動するにあたり、以下に示す 3 つのサービスが必要となります。

GENESYS Services Host - GENESYS のリポジトリへ接続する際に起動が必要です。ライセンスの Service パートを消費します。

SQL Server - GENESYS のリポジトリは SQL サーバー上に構築されます。GENESYS のリポジトリへ接続する際に GENESYS Services Host とセットで起動が必要となります。

Sentinel LDK License Manager - ライセンスの確認に必要となります。

サービスの使用方法

接続したいリポジトリによって、サービスの起動が必要となる端末が異なります。

ローカルリポジトリにアクセスするとき

GENESYS を起動する端末で 3 種類のサービスを全て開始します。起動の順番は以下になります。

- ① *SQL Server*
- ② *Sentinel LDK License Manager*
- ③ *GENESYS Services Host*

共有リポジトリにアクセスするとき

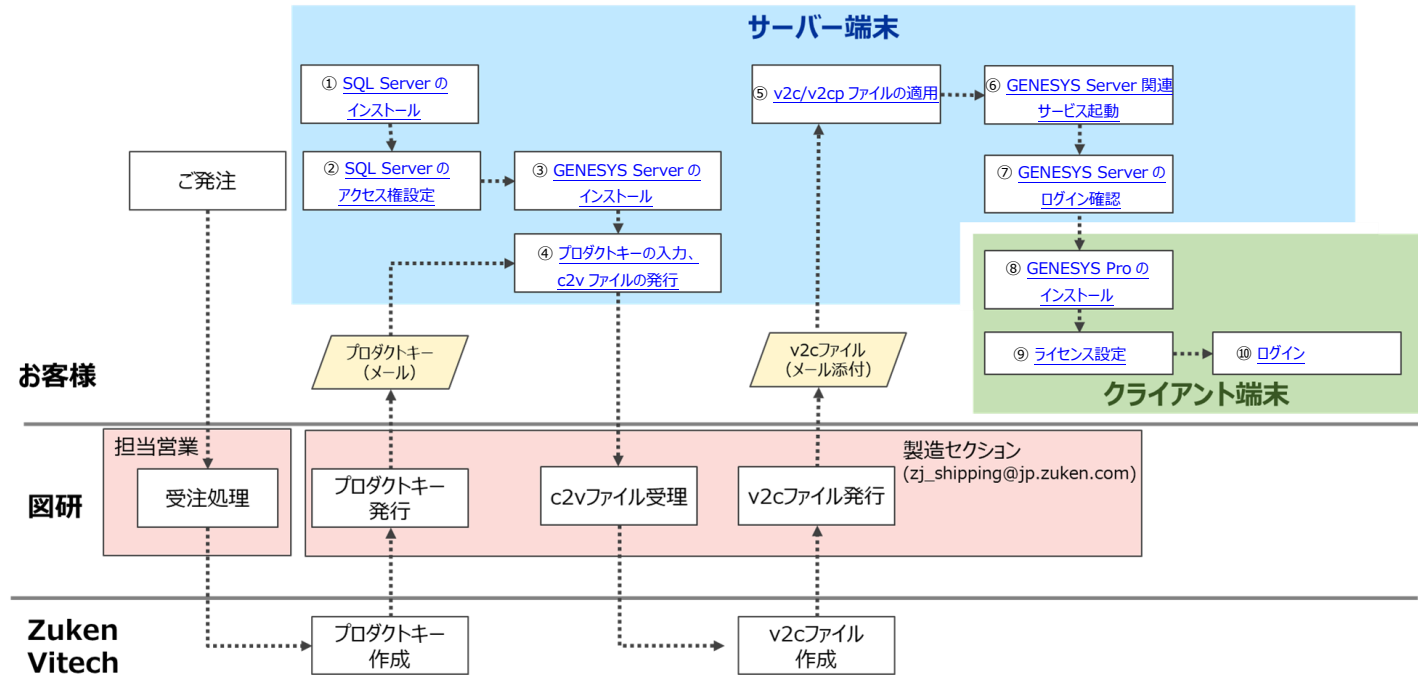
共有リポジトリが置いてある端末と、共有リポジトリにアクセスする端末でサービスを開始する必要があります。共有リポジトリが置いてある端末… 3 種類のサービスを全て開始します。起動の順番は以下になります。

- ① *SQL Server*
- ② *Sentinel LDK License Manager*
- ③ *GENESYS Services Host*

共有リポジトリにアクセスする端末…Sentinel LDK License Manager のみを開始します。

全体の流れと運用別インストール手順

全体の流れ



GENESYS Pro/GENESYS のみ導入し、スタンドアロンでインストールする場合

スタンドアロンでインストールする場合、クライアント端末にのみインストールします。全体の流れの⑧、④、⑤、⑨、⑩の順にインストールを進めます。④、⑤の手順もクライアント端末で実行します。ネームライセンスの場合は、⑨の手順は不要です。

GENESYS Server を導入し、クライアントサーバー構成でインストールする場合

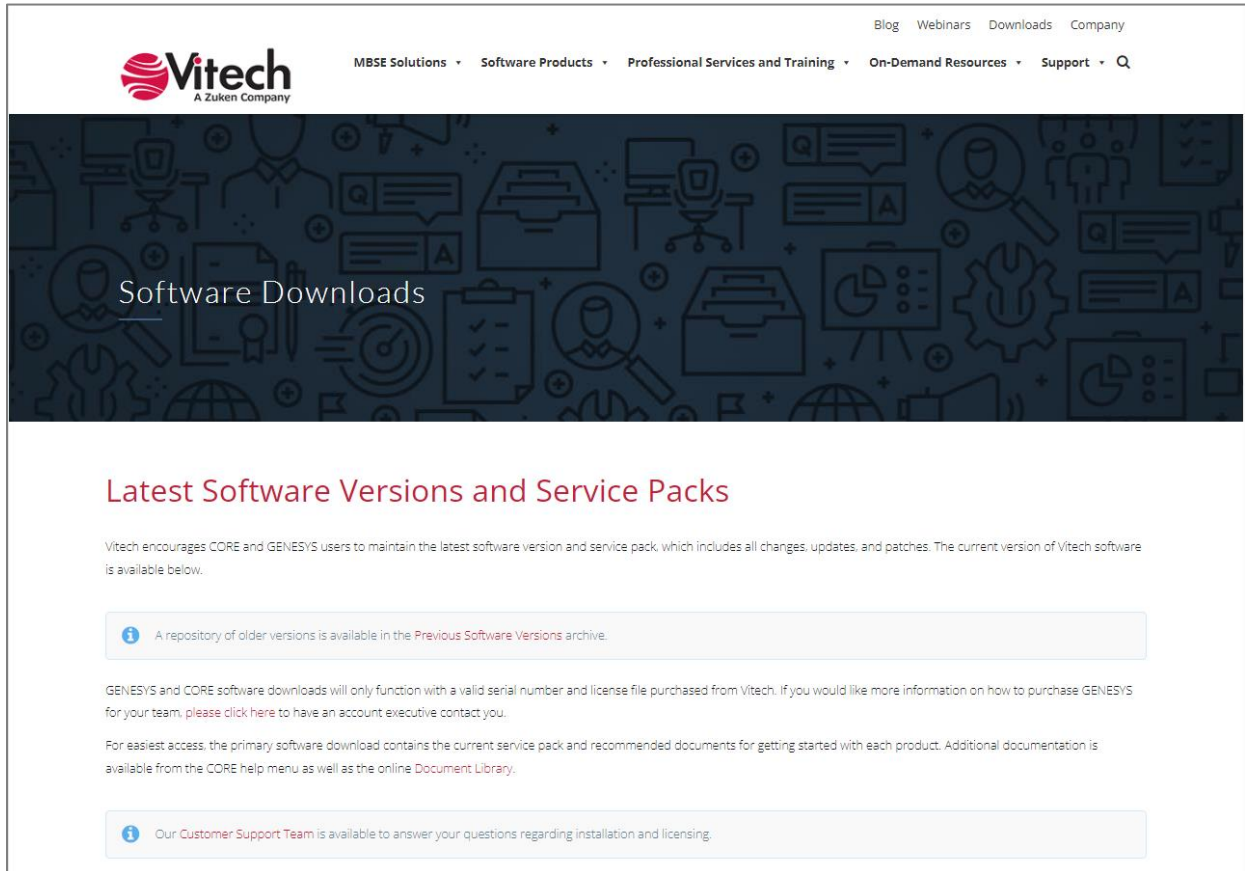
クライアントサーバー構成でインストールする場合、サーバー端末に SQL Server をインストールする必要があります。全体の流れの①～⑩の順にインストールを進めます。

ステップ 1 : GENESYS 2025 のインストール

ここでは、GENESYS をインストールするための手順を示します。

GENESYS 2025 のインストール

1. Vitech Web サイト (<https://www.vitechcorp.com/software-downloads/>) から GENESYS 2025 インストーラーをダウンロードします。



Blog Webinars Downloads Company

MBSE Solutions • Software Products • Professional Services and Training • On-Demand Resources • Support • Q

Software Downloads

Latest Software Versions and Service Packs

Vitech encourages CORE and GENESYS users to maintain the latest software version and service pack, which includes all changes, updates, and patches. The current version of Vitech software is available below.

i A repository of older versions is available in the [Previous Software Versions](#) archive.

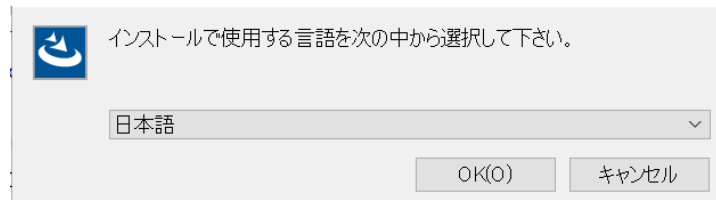
GENESYS and CORE software downloads will only function with a valid serial number and license file purchased from Vitech. If you would like more information on how to purchase GENESYS for your team, [please click here](#) to have an account executive contact you.

For easiest access, the primary software download contains the current service pack and recommended documents for getting started with each product. Additional documentation is available from the CORE help menu as well as the online [Document Library](#).

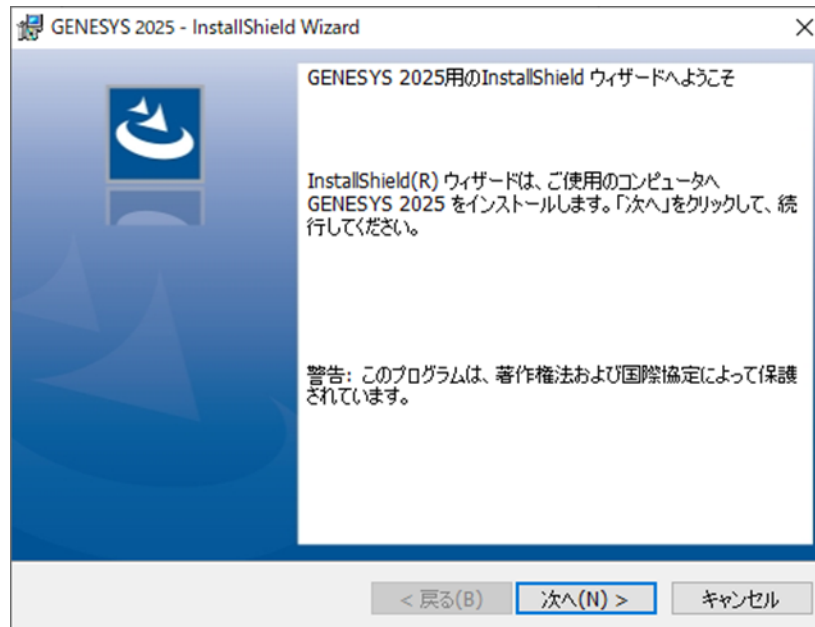
i Our [Customer Support Team](#) is available to answer your questions regarding installation and licensing.

GENESYS インストールガイド

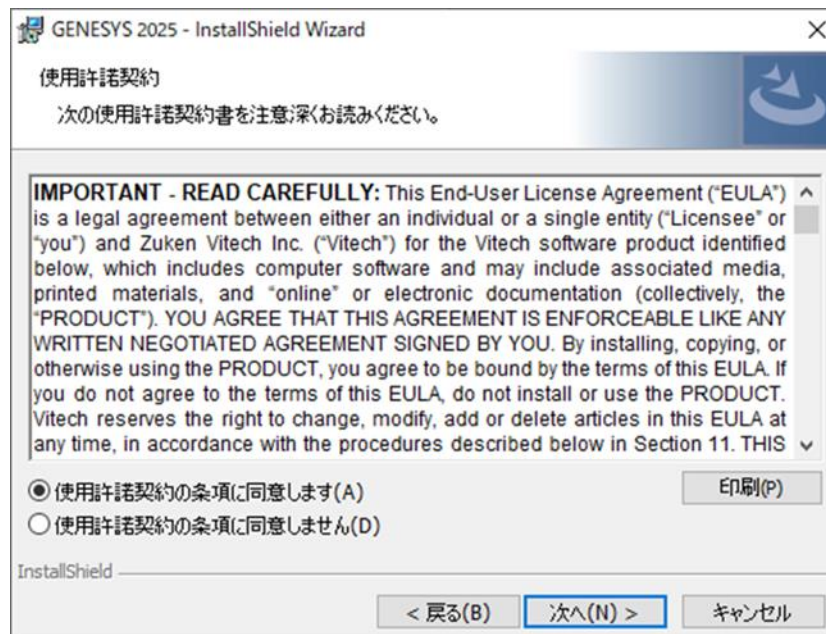
2. ファイルを開くと Install Shield Wizard が起動します。インストーラーの言語を選択して[OK]をクリックします。



3. [次へ]をクリックします。



4. GENESYS の使用を規定するエンドユーザーライセンス契約を確認します。同意する場合は、「…同意します」を選択し、[次へ]をクリックしてインストールを続行します。



GENESYS インストールガイド

5. 必要に応じて、ユーザー名に名前を入力し、所属に組織の名前を入力します。[次へ]をクリックします。

ユーザー情報
情報を入力してください。

ユーザー名(U):
図研太郎

所属(O):
株式会社図研

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6. GENESYS のインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。
- デフォルトでは、C:\Program Files\Vitech\GENESYS 2025 にインストールされます。インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックしてインストール先を選択し、[次へ]をクリックします。

GENESYS 2025 - InstallShield Wizard

インストール先のフォルダー
このフォルダーにインストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。別のフォルダにインストールする場合は、「変更」をクリックします。

GENESYS 2025 のインストール先:
C:\Program Files\Vitech\GENESYS 2025

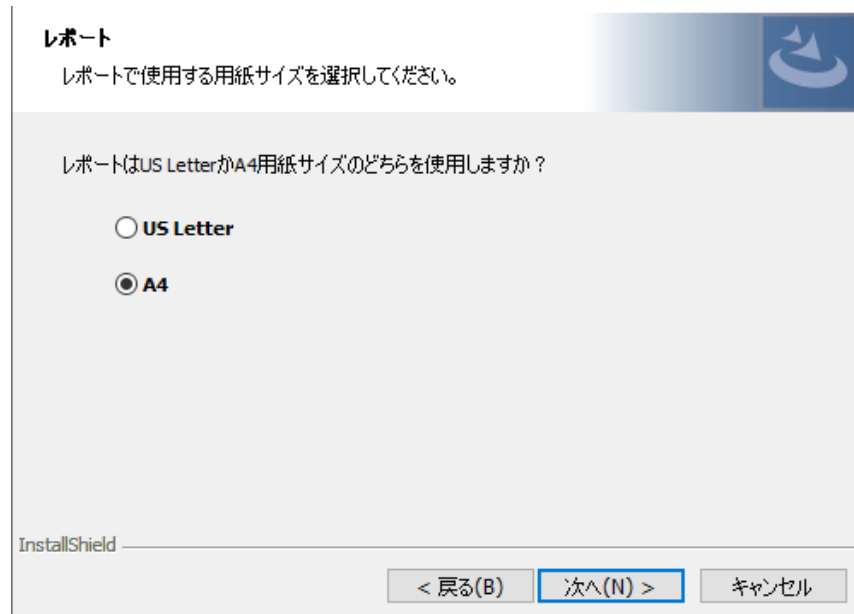
変更(C)...

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

GENESYS インストールガイド

7. GENESYS レポートは、US Letter または A4 のいずれかを使用するように設定することができます。適切な用紙サイズを選択して、[次へ]をクリックします。※A4 選択を推奨します。



レポート
レポートで使用する用紙サイズを選択してください。

レポートはUS LetterかA4用紙サイズのどちらを使用しますか？

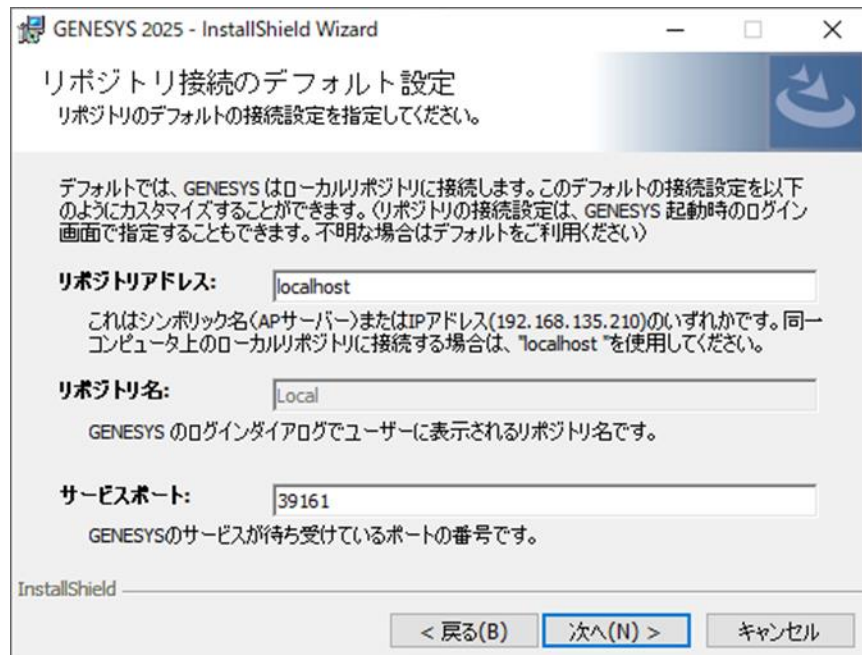
☐ US Letter

☒ A4

InstallShield

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

8. GENESYS は、ローカルリポジトリ(Localhost)、またはリモートリポジトリへ接続します。リモートリポジトリに接続する場合は設定します。



GENESYS 2025 - InstallShield Wizard

リポジトリ接続のデフォルト設定
リポジトリのデフォルトの接続設定を指定してください。

デフォルトでは、GENESYS はローカルリポジトリに接続します。このデフォルトの接続設定を以下のようにカスタマイズすることができます。リポジトリの接続設定は、GENESYS 起動時のログイン画面で指定することもできます。不明な場合はデフォルトをご利用ください。

リポジトリアドレス:
これはシンボリック名(APサーバー)またはIPアドレス(192.168.135.210)のいずれかです。同一コンピュータ上のローカルリポジトリに接続する場合は、"localhost"を使用してください。

リポジトリ名:
GENESYS のログインダイアログでユーザーに表示されるリポジトリ名です。

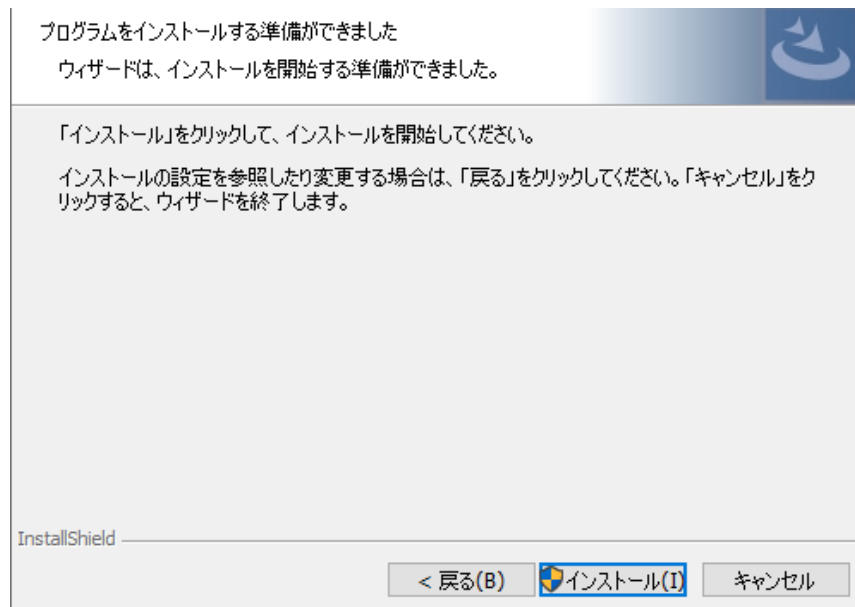
サービスポート:
GENESYSのサービスが待ち受けているポートの番号です。

InstallShield

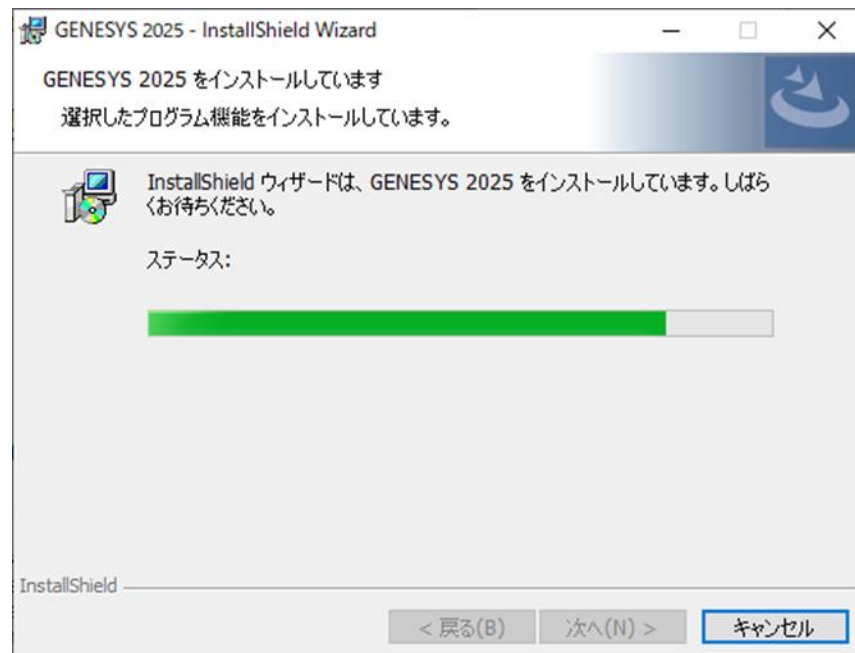
< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

GENESYS インストールガイド

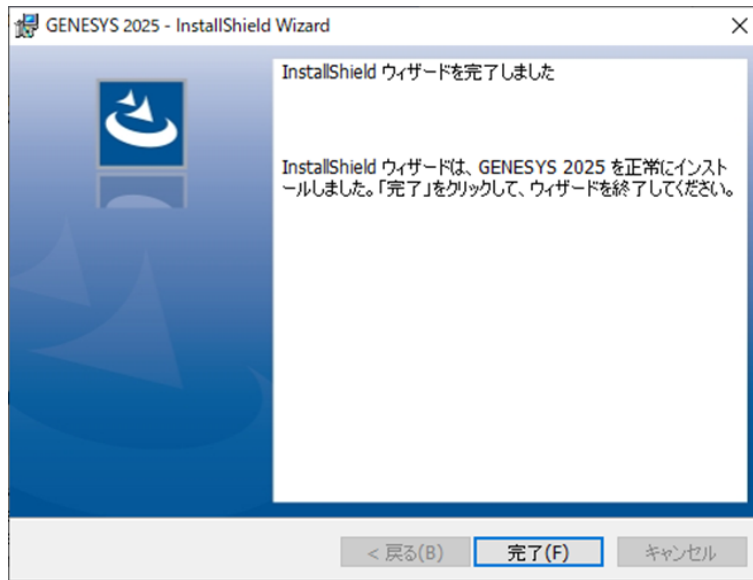
9. [インストール]をクリックしてインストールを開始します。設定を変更する際は[戻る]をクリックして戻ります。



10. インストールの進捗が確認できます。インストーラーは Sentinel Hasp をインストールするために、実行中の GENESYS サービスを停止させる場合があります。インストール後、GENESYS サービスを再起動する必要があります。



11. インストールが完了したら、[完了]をクリックします。



注: GENESYS 2024 以降、ローカル リポジトリの Microsoft® SQL Server® Express への依存がなくなりました。SQL Server の軽量なインプロセス バージョンがシームレスにインストールされ、SQL Server Express の必要性がなくなりました。これによりインストール プロセスが簡素化され、ARM ベースのプロセッサを使用する Windows コンピュータや、現在の Apple ハードウェア上の仮想マシンで GENESYS が機能するようになりました。

コネクタのインストールが必要な連携機能

一部の GENESYS コネクタはインストーラーが用意されています。これらのコネクタは使用する端末にインストールする必要があります。

以下のソフトウェアとの連携機能はコネクタのインストールが必要です。

- Microsoft® Excel®
- Microsoft® PowerPoint®
- Microsoft® Project®
 - GENESYS と同じ PC にインストールする必要があります。

以下のソフトウェアとの連携機能は GENESYS に含まれるため、コネクタのインストールなしで使用可能です。

- IBM® Rational® DOORS®
- MathWorks® MATLAB®
- MathWorks® Simulink®
- Ansys® ModelCenter® MBSE

GENESYS Server（オプション）のインストール

注意事項：本ツールはオプション製品となります。GENESYS Server を購入していない場合は、インストール不要です。GENESYS Server をインストールするには SQL Server のインストールが必須です。

SQL Server のインストール

以下のエディションが利用可ですが、製品版を推奨します。既に SQL Server がインストールされている場合はインストール不要です。

- 無償版：Express Edition ([インストーラーへのリンク](#))
- 製品版：Standard Edition 以上

Express Edition（無償版）には、以下の利用制限があります。

- データベースサイズの上限 10GB
- 利用可能なメモリサイズの上限値が 1GB
- 使用できる CPU 数上限が 1CPU 4 コア

※GENESYS のデータベースサイズの目安として以下のデータで約 1GB です。

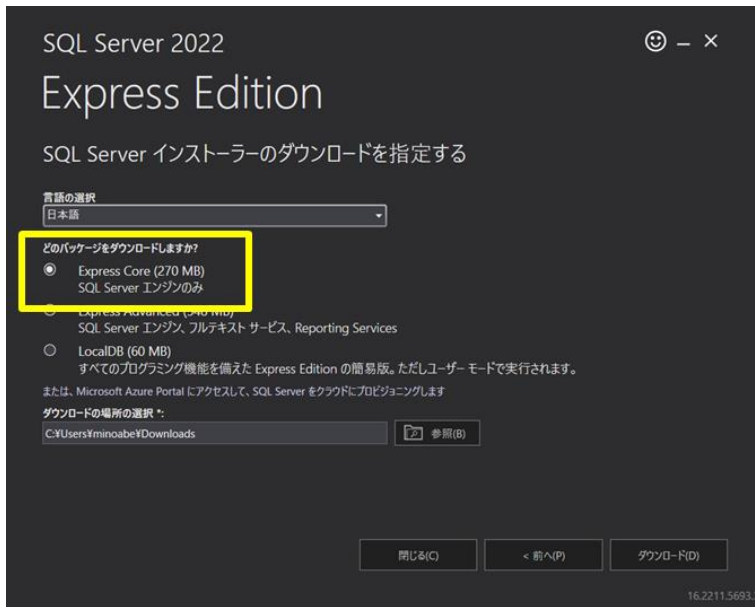
総プロジェクト数：70、総エンティティ数：8000

SQL Server Express のインストーラーのダウンロード（Express Edition を利用する場合のみ）

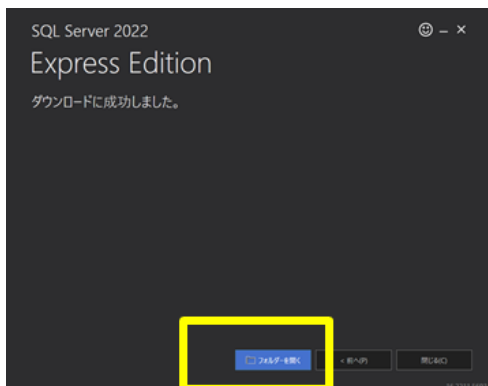
1. ダウンロードサイトのリンクからインストーラーをダウンロードし、「SQL****-SSEI-Expr.exe」を実行します。※日本語版をダウンロードしてください。****は 2022 などのリビジョン番号です。（[ダウンロードサイト](#)）
2. [メディアのダウンロード]を選択します。



3. [Express Core]を選択し、[ダウンロード]を実行します。



4. [フォルダを開く]の先に、[SQLEXP_x64_JPN.exe]がダウンロードされます。



GENESYS インストールガイド

SQL Server のインストール（エディション共通）

1. SQL Server のインストーラーを実行します。※ Express Edition の場合は上記でダウンロードした [SQLEXPRESS_x64_JPN.exe] を実行します。
2. 以下の画面が表示されます。



3. [SQL Server の新規のスタンドアロン インストールを実行・・・]を選択します。



GENESYS インストールガイド

4. [ライセンス条項への同意]をチェックして、[次へ]を選択します。

SQL Server 2022 セットアップ

ライセンス条項

SQL Server 2022 をインストールするには、マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意する必要があります。

グローバル ルール
Microsoft Update
製品の更新プログラム
セットアップ File のインストール
インストール ルール
SQL Server 用 Azure 拡張機能
機能の選択
機能ルール
機能構成ルール
インストールの進行状況
完了

SQL Server 2022 Express Edition

お客様は本ライセンス条項に同意される必要があります。下記をご参照ください。本ライセンス条項の全文 (aka.ms/useterms) をご確認ください。

データ収集。本ソフトウェアは、お客様およびお客様による本ソフトウェアの使用に関する情報を収集し、その情報をマイクロソフトに送信することがあります。マイクロソフトは、サービスの提供ならびにマイクロソフトの製品およびサービスの向上を目的に、この情報を使用できます。お客様はこの収集を停止する権利がある場合は、製品付属の文書に記載されています。本ソフトウェアの一定の機能を使用すると、本ソフトウェアにアクセスする、または本ソフトウェアを使用するお客様のアプリケーションのユーザーからデータを収集できる場合があります。お客様は、この機能を使用してお客様のアプリケーションでデータ収集を行う場合、ユーザーから必要な同意を得る、データの使用、収集、および共有方法についてユーザーに正確に知らせるプライバシーポリシーを目につきやすい形で維持するなど、適用される法令を遵守しなければなりません。マイクロソフトによるデータの収集および使用の詳細については、製品付属の文書およびマイクロソフトのプライバシーに関する声明 (<https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=521839>) をご参照ください。お客様は、マ

☒ ライセンス条項と次に同意します(A): [プライバシーに関する声明](#)

SQL Server は、インストール エクササイズに関する情報と、その他の使用状況とパフォーマンスのデータを送信します。Azure Arc 接続では、Azure Portal とサービスを使用して SQL Server インスタンスを管理および保護できるように、構成データも送信されます。データ処理とプライバシー管理の詳細を確認し、特定の情報の収集を無効にするには、[ドキュメント](#) を参照してください。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

5. [Microsoft Update を使用して...]はチェック OFF のまま、[次へ]を選択します。

SQL Server 2022 セットアップ

Microsoft Update

Microsoft Update を使用して重要な更新プログラムを確認する

ライセンス条項
グローバル ルール
Microsoft Update
製品の更新プログラム
セットアップ File のインストール
インストール ルール
SQL Server 用 Azure 拡張機能
機能の選択
機能ルール
機能構成ルール
インストールの進行状況
完了

Microsoft Update は、Windows と SQL Server 2022 を含むほかの Microsoft ソフトウェアのセキュリティ更新プログラムや他の重要な更新プログラムを提供します。更新プログラムは、自動更新を使用するか、Microsoft Update Web サイトにアクセスして取得することができます。

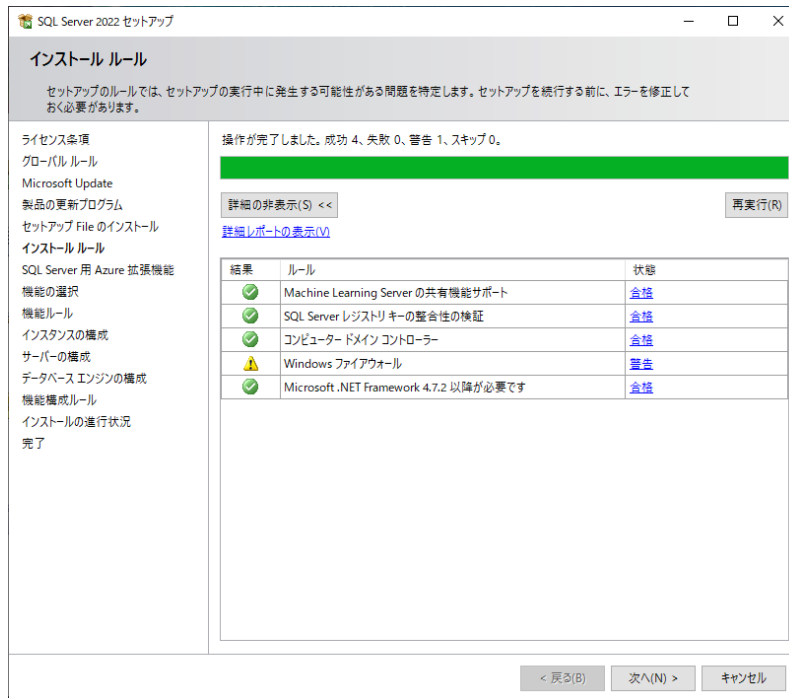
☐ Microsoft Update を使用して更新プログラムを確認する (推奨)(M)

[Microsoft Update の FAQ](#)
[Microsoft プライバシー ステートメント](#)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

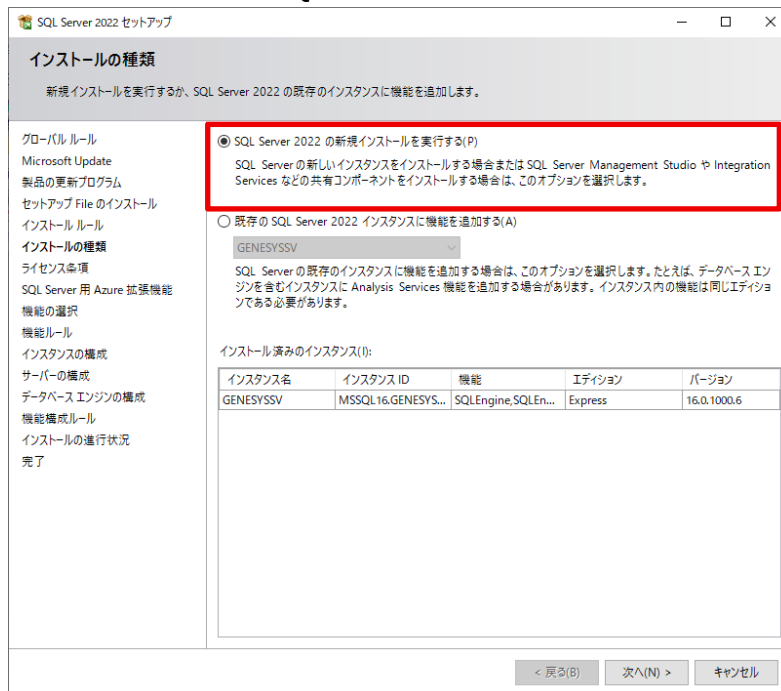
GENESYS インストールガイド

6. [次へ]を選択します。



7. [...]新規インストールを実行する]を選択し、[次へ]を選択します。

※インストール先マシンに SQL Server がインストールされていない場合、このページはスキップされます。



GENESYS インストールガイド

8. [SQL Server 用 Azure 拡張機能]のチェックをオフにして、[次へ]を選択します。

9. 無償版 (Express Edition)、製品版 (Standard Edition 以上) いずれの場合においても、以下のチェックをオンに設定します。ディレクトリ設定は全てデフォルトのままで、[次へ]を選択します。

無償版 (Express Edition) の場合

製品版 (Standard Edition以上) の場合

GENESYS インストールガイド

以下に示すように入力し、[次へ]を選択します。

- 名前付きインスタンス：GENESYSSV
- インスタンス ID：GENESYSSV

※SQL Server インスタンスを別の名前で作成した場合は、本書内の「GENESYSSV」を読み替えてください。

SQL Server 2022 セットアップ

インスタンスの構成

SQL Server インスタンスの名前およびインスタンス ID を指定します。インスタンス ID は、インストール パスの一部になります。

ライセンス事項
グローバル ルール
Microsoft Update
製品の更新プログラム
セットアップ File のインストール
インストール ルール
SQL Server 用 Azure 拡張機能
機能の選択
機能ルール
インスタンスの構成
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
機能構成ルール
インストールの進行状況
完了

☐ 既定のインスタンス(D)

☒ 名前付きインスタンス(A): * GENESYSSV

インスタンス ID(I): GENESYSSV

SQL Server ディレクトリ: C:\Program Files\Microsoft SQL Server\

インストール済みインスタンス(I):

インスタンス名	インスタンス ID
---------	-----------

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

10. すべてデフォルト設定のまま、[次へ]を選択します。

SQL Server 2022 セットアップ

サーバーの構成

サービス アカウントと照合順序の構成を指定します。

サービス アカウント 照合順序

各 SQL Server サービスに別々のアカウントを使用することをお勧めします(M)

サービス	アカウント名	パスワード	スタートアップの種類
SQL Server データベース エンジン	NT Service\MSSQL\$GE...		自動
SQL Server Browser	NT AUTHORITY\LOCAL ...		無効

☐ SQL Server データベース エンジン サービスに [ボリユームの保守タスクを実行] 特権を付与する(G)

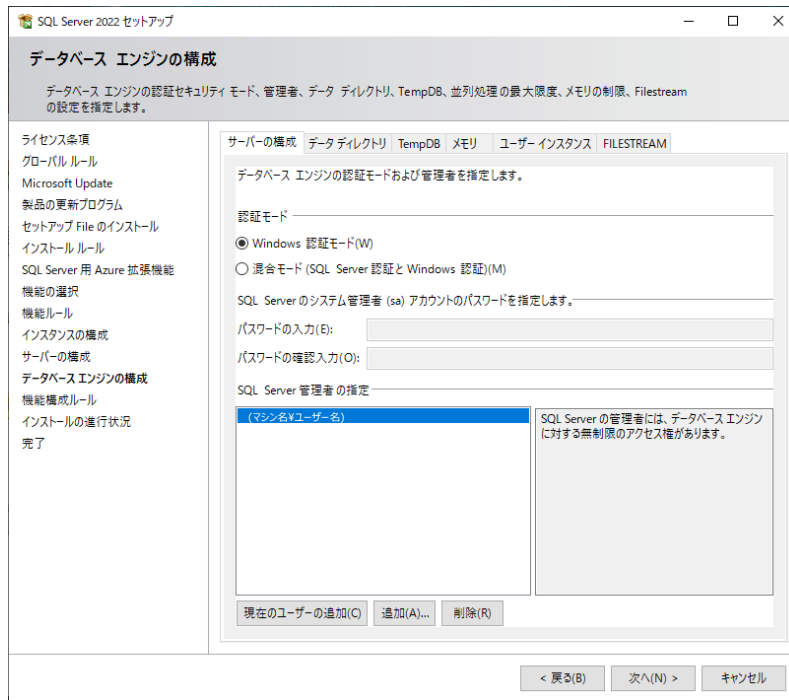
この特権は、データ ページの領域の解放を回避することによってファイルの瞬時初期化を有効にします。これにより削除されたコンテンツにアクセスを許可するため、情報の開示につながる可能性があります。

[詳細はこちらをクリック](#)

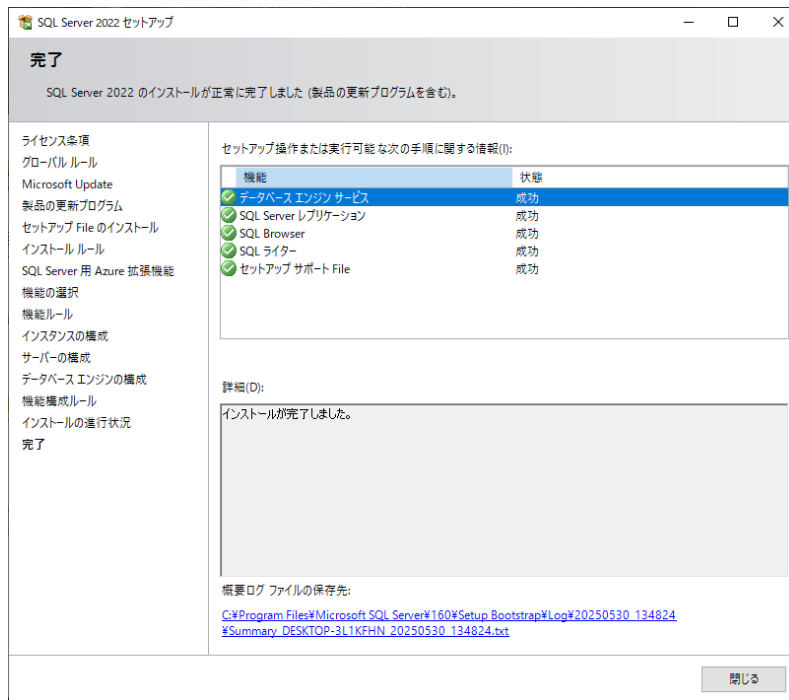
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

GENESYS インストールガイド

11. すべてデフォルト設定のまま、[次へ]を選択します。



12. 以上で、SQL Server のインストールは完了です。

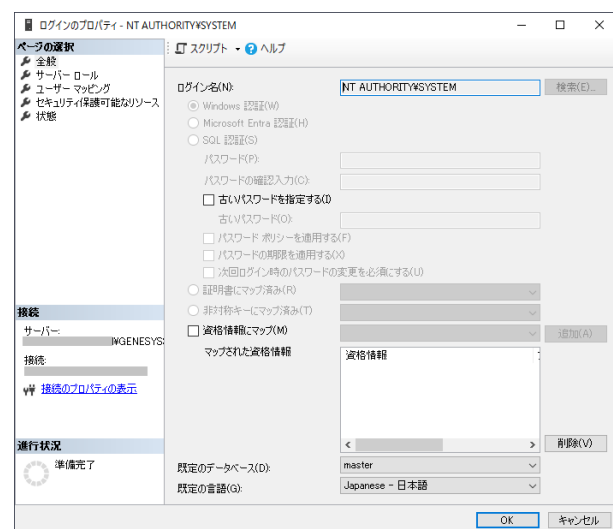
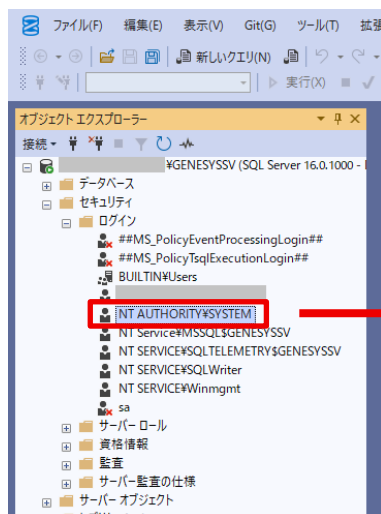


SQL Server のアクセス権設定

1. Web サイトから「SQL Server Management Studio」をダウンロードし、インストールします（[ダウンロードページ](#)）。※日本語版のインストールを推奨します。
2. スタートメニューから SQL Server Management Studio を開きます。
3. “サーバー名¥GENESYSSV”にログインします。

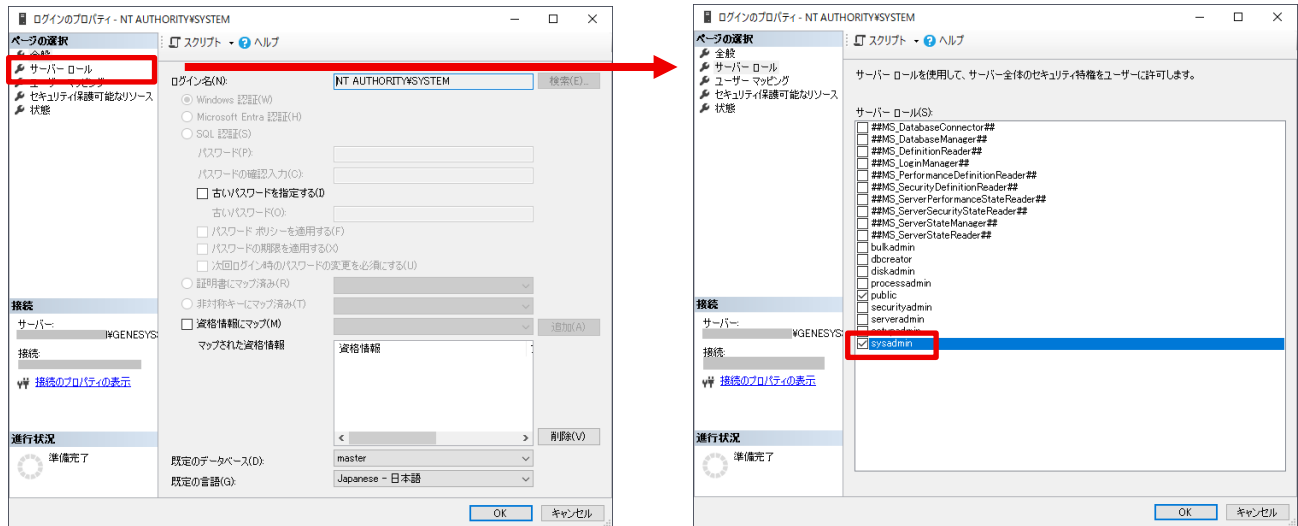


4. [セキュリティ]>[ログイン]から[NT AUTHORITY¥SYSTEM]を選択します。
5. 右クリックメニュー->[プロパティ]を選択し、プロパティ画面を開きます。



GENESYS インストールガイド

6. サーバーロールを選択し、“sysadmin”の権限を[ON]にします。



7. OK ボタンをクリックしたら、System アカウントのセットアップは完了です。

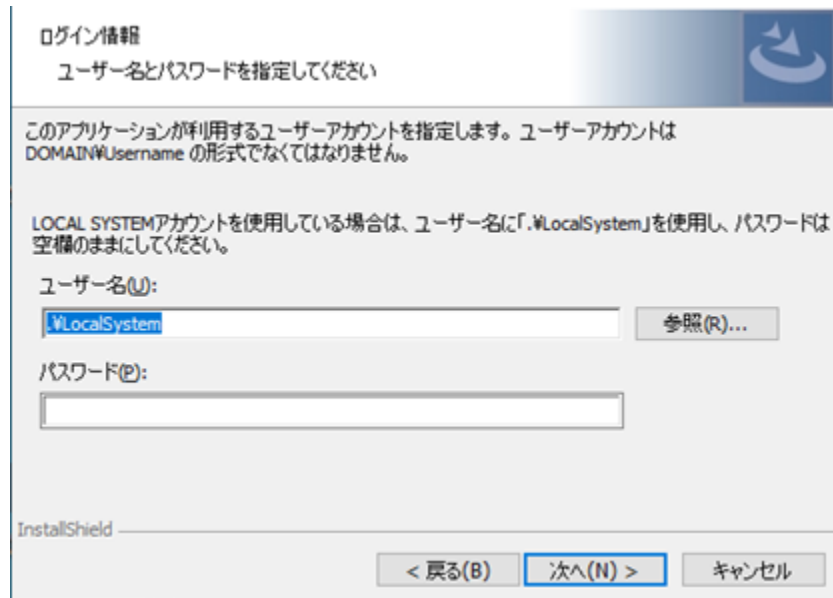
GENESYS Server のインストール

- ※ GENESYS Server は SQL Server に接続します。GENESYS Server インストール前に、SQL Server のインストールを完了し、バージョンが 13 以降であることを確認してください。
- ※ SQL Server にログインしてデータベースを作成するためのユーザー名とパスワード、および使用中に SQL リポジトリを更新するためのユーザー名とパスワードを用意してください。これらは、個々の設定に応じて同じユーザー名とパスワードになる場合があります。

1. Vitech Web サイト (<https://www.vitechcorp.com/software-downloads/>) から GENESYS 2025 Server インストーラーをダウンロードし、ファイルを開きます。
2. Install Shield Wizard ウィンドウで、[次へ]をクリックします。
3. GENESYS の使用を規定するエンドユーザーライセンス契約を確認します。同意する場合は[Yes]を選択して、インストールを続行します。
4. ユーザー名に名前、所属に組織名を入力したら、[次へ]をクリックします。
5. GENESYS Server アプリケーションファイルのインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。
6. インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックして別のインストール先を選択し、[次へ]をクリックします。
7. GENESYS レポートは、US Letter または A4 のいずれかを使用するように構成できます。適切な用紙サイズを選択して、[次へ]をクリックします。

GENESYS インストールガイド

8. ユーザー名とパスワードを設定し、[次へ]をクリックします。本ガイドに従って、SQL Server をインストールした場合は、デフォルト設定のままにします。



- ※ SQL Server が同じマシンにインストールされていて、ローカルシステムアカウントを使用するには「¥LocalSystem」と入力します。ローカルシステムを使用する場合、パスワードは必要ありません。
 - ※ Windows 認証を使用している場合は SQL Server データベースに接続するために使用できるユーザーアカウントのユーザー名とパスワードの入力をします。SQL Server ユーザー名を「ドメイン¥ユーザー名」形式でユーザー名フィールドに入力するか、使用可能なドメインとユーザー名から選択します。そしてパスワードフィールドにパスワードを入力します。
 - ※ Windows 認証が SQL Server で使用されている場合、インストーラーを実行しているアカウントには、次の手順で指定される SQL Server インスタンス内にデータベースを作成する権限が必要です。
9. SQL Server が保存されている場所の入力を求められます。「インストール先データベース サーバー」で、SQL Server が同じマシン上にある場合は (local) のままにします。それ以外の場合は、リポジトリデータベースをホストするサーバーと SQL Server インスタンスを選択します。本ガイドに従って、SQL Server をインストールした場合は、「(local)¥GENESYS\$V」を設定します。
10. 使用されている認証タイプを選択し、[次へ]をクリックします。本ガイドに従って、SQL Server をインストールした場合は、「現在のユーザーの Windows 認証情報」を設定します。
- ※ SQL Server 認証が指定されている場合は、資格情報を入力します。SQL Server 認証を使用する場合、指定されたユーザーアカウントを使用してデータベースが作成され、アプリケーションの実行時にデータベースにアクセスします。

GENESYS インストールガイド

- ※ Windows 認証を使用している場合、インストーラーを実行しているアカウントがワンタイムログインに使用され、インストール中に SQL Server インスタンス内にデータベースが作成され、ログオン情報が使用されます。アプリケーションの実行時に使用されるユーザーアカウントには、SQL Server 内で REPOSITORY8 のテーブルを作成および削除する権限が必要であることに注意してください。（データベース所有者権限を使用することをお勧めします。）

データベースサーバー
データベースサーバーおよび認証方法を選択します。

インストール先データベース サーバー(D):
(local)\\$GENESYS\$V

参照(R)...

接続方法:
☒ 現在のユーザーの Windows 認証情報(W)
☐ 次のログイン ID およびパスワードを利用した Server 認証

ログイン ID... sa
パスワード...

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

11. [インストール]をクリックしてインストールを開始します。設定を変更する場合は、[戻る]をクリックして戻ります。
12. インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

GENESYS License Manager のインストール

※ GENESYS License Manager は、他の GENESYS 製品がインストールされないマシンにのみインストールする必要がある。これは、フローティングライセンスの管理専用です。

1. Vitech Web サイト (<https://www.vitechcorp.com/software-downloads/>) から GENESYS License Manager インストーラーをダウンロードし、ファイルを開きます。
2. Install Shield Wizard ウィンドウで、[次へ]をクリックします。
3. GENESYS License Manager の使用を規定するエンドユーザー使用許諾契約書を確認し、同意する場合は、「…同意します」を選択してから、[次へ]をクリックしてインストールを続行します。
4. GENESYS License Manager アプリケーションファイルのインストール先を確認して[次へ]をクリックします。インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックして別のインストール先を選択し、[次へ]をクリックします。
5. [インストール]をクリックしてインストールを開始します。設定を変更する場合は、[戻る]をクリックして戻ります。
6. インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

ファイアウォールの例外作成

企業内で Microsoft Windows ファイアウォールが使用されている場合、ファイアウォールの例外を作成する必要があります。GENESYS のファイアウォールの例外は、別のマシンのリポジトリに接続する場合に必要です。

※ 以下の手順はすべて Windows10 または Windows11 ファイアウォール用です。別のバージョンの Windows または別のファイアウォールプログラムを使用している場合、プロセスが異なる場合があります。

TCP ポートアクセスを許可する新しい受信の規則を作成

1. コントロールパネルを開き、「Windows Defender ファイアウォール」を選択します。
2. [詳細設定]をクリックします。
3. 「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」ウィンドウが開きます。
4. 左側のペインで、[受信の規則]をクリックします。
5. 右側の操作ウィンドウで[新しい規則...]をクリックします。「新規の受信の規則ウィザード」が開きます。
6. [ポート]を選択し、[次へ]をクリックします。
7. TCP を選択し、ポート番号「39161」を指定し、[次へ]をクリックします。

※ ポート 39161 は、リモートリポジトリ通信用に GENESYS 2025 が使用するデフォルトポートです。
このデフォルトを変更した場合は、変更したポート番号をここで使用する必要があります。
8. [接続を許可する]を選択して、[次へ]をクリックします。
9. この規則を適用するネットワークプロファイルを選択し、[次へ]をクリックします。

※ どちらを選択するかわからない場合は、組織の IT 部門へお問い合わせください。
10. 名前入力欄に「GENESYS 2025 Repository Communication」と入力し、[完了]をクリックします。

ネットワークを介してライセンス提供ができない場合

ライセンスをホストするライセンスサーバー端末で以下の操作を行います。

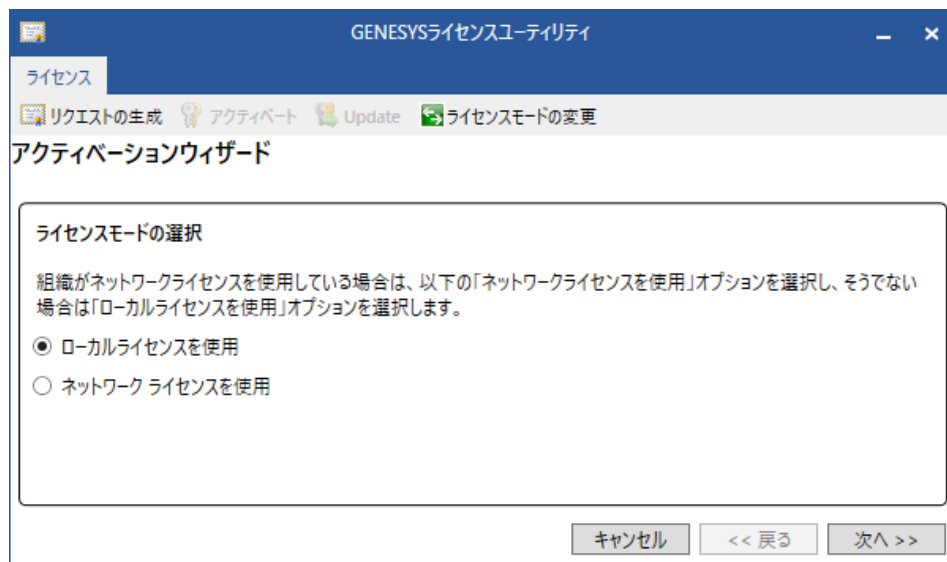
1. コントロールパネルを開き、「Windows Defender ファイアウォール」を選択します。
2. [詳細設定]をクリックします。
3. 「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」ウィンドウが開きます。
4. 左側のペインで、[受信の規則]をクリックします。
5. 右側の操作ウィンドウで[新しい規則...]をクリックします。「新規の受信の規則ウィザード」が開きます。
6. [プログラム]をクリックし、「このプログラムのパス」を選択します。
7. [参照]をクリックして C:\Program Files (x86)\Common Files\Aladdin Shared\HASP の、hasplms.exe ファイルを選択します。
8. [開く]をクリックし、[次へ]をクリックします。
9. [接続を許可する]を選択して、[次へ]をクリックします。
10. この規則を適用するネットワークプロファイルを選択し、[次へ]をクリックします。
※ どちらを選択するかわからない場合は、組織の IT 部門へお問い合わせください。
11. 名前入力欄に「Sentinel LM」と入力し、[完了]をクリックします。

ステップ 2 : GENESYS 製品のライセンス

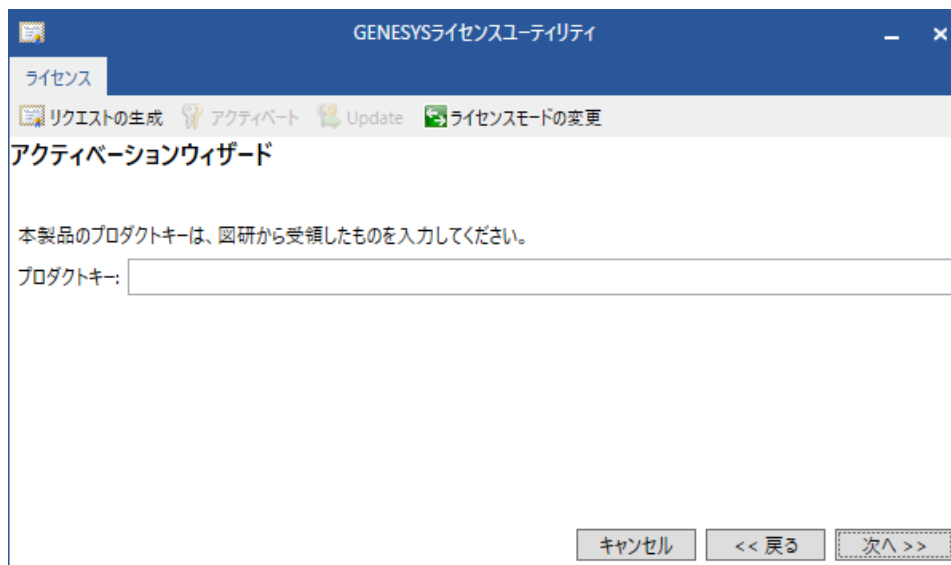
ライセンスタイプの詳細については、**GENESYS ライセンスオプション**を参照してください。

GENESYS ライセンスをアクティベートするための準備

1. GENESYS をインストールします。
2. 最初の起動時に、製品アクティベーションを完了するように求められます
3. 「ローカルライセンスを使用」を選択し、[次へ]をクリックします。
- ※ ネットワークライセンスを使用する場合は、[ネットワークライセンスを使用]を選択して[次へ]をクリックし、完了します。

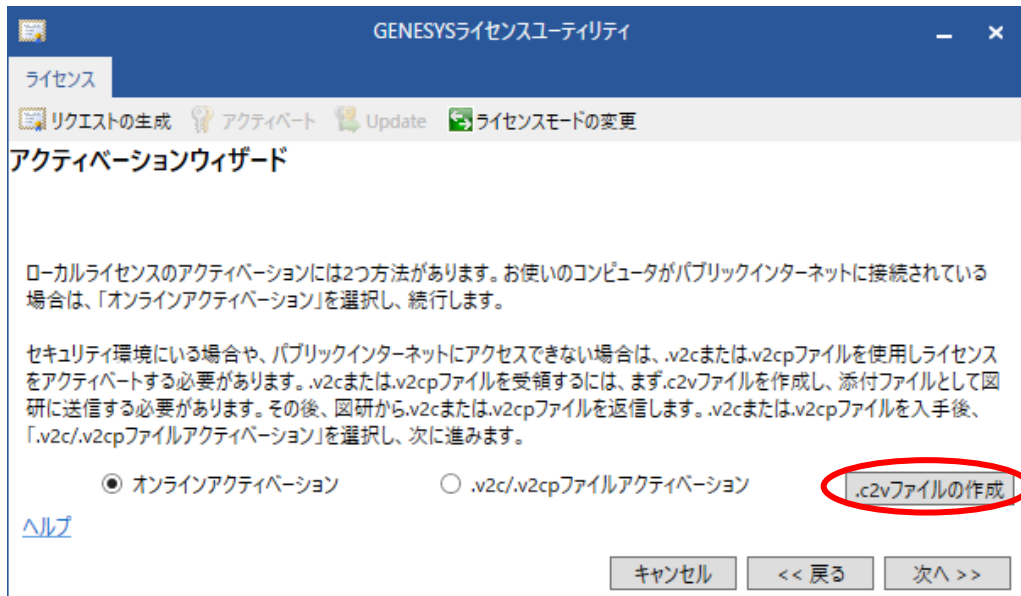


4. 図研から提供されたプロダクトキーを貼り付け、[次へ]をクリックします。



GENESYS インストールガイド

5. [.c2v ファイルの作成]をクリックします。



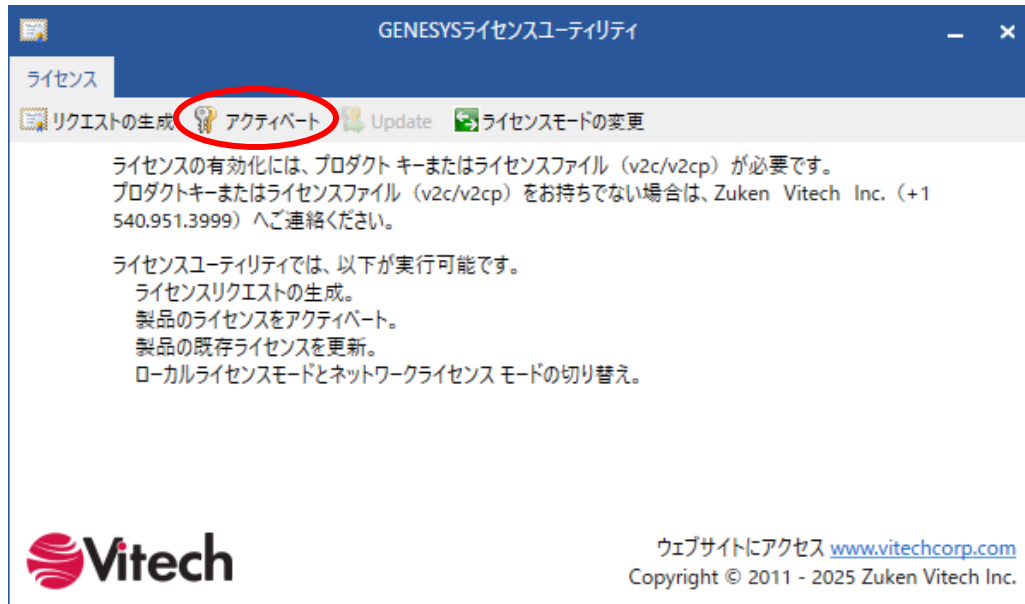
6. C2V ファイルの保存先を指定し、C2V ファイルを作成します。
7. 作成したファイルを図研 GENESYS ライセンス発行窓口 (zj_shipping@jp.zuken.com) に送付し、ライセンス発行の依頼をします。
8. ライセンスが発行されます。V2C ファイルまたは V2CP ファイルが図研 GENESYS ライセンス発行窓口からメールで送付されます。

GENESYS ライセンスをアクティベート

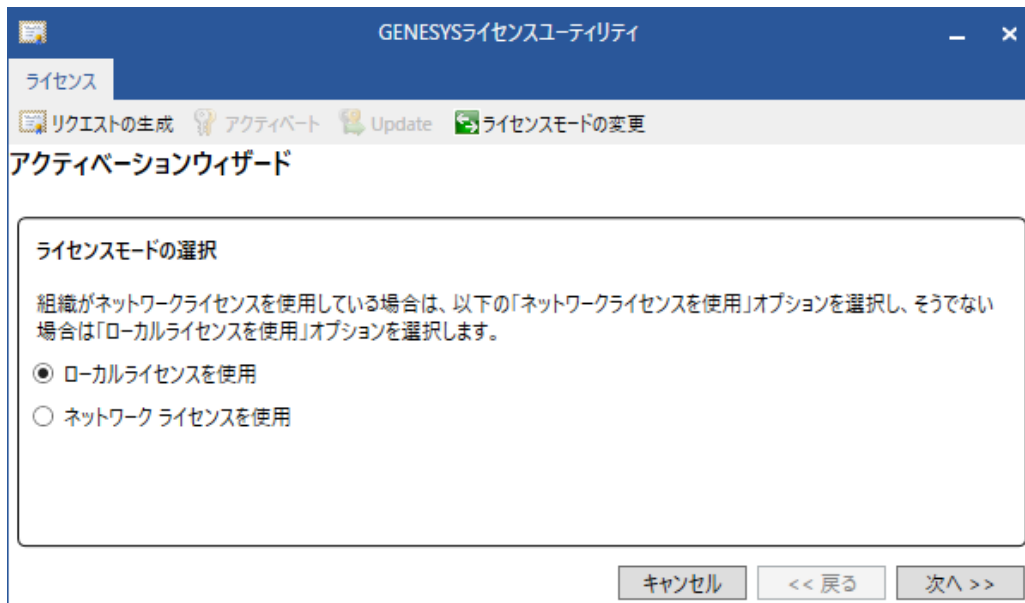
受け取った V2C ファイルまたは V2CP ファイルを使用し、ライセンスアクティベーションを実行していきます。

※ V2C ファイルまたは V2CP ファイルは、C2V ファイルを発行した PC にのみアクティベーションしてください。

1. ライセンスユーティリティを起動します。
2. [アクティベート] (鍵マーク) をクリックします。

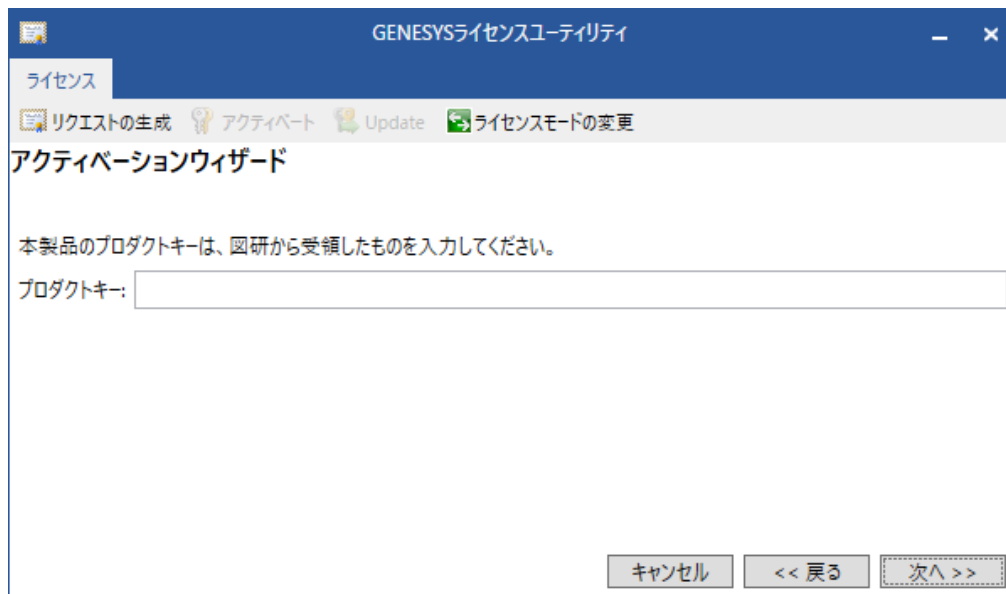


3. 「ローカルライセンスを使用」を選択し、[次へ]をクリックします。

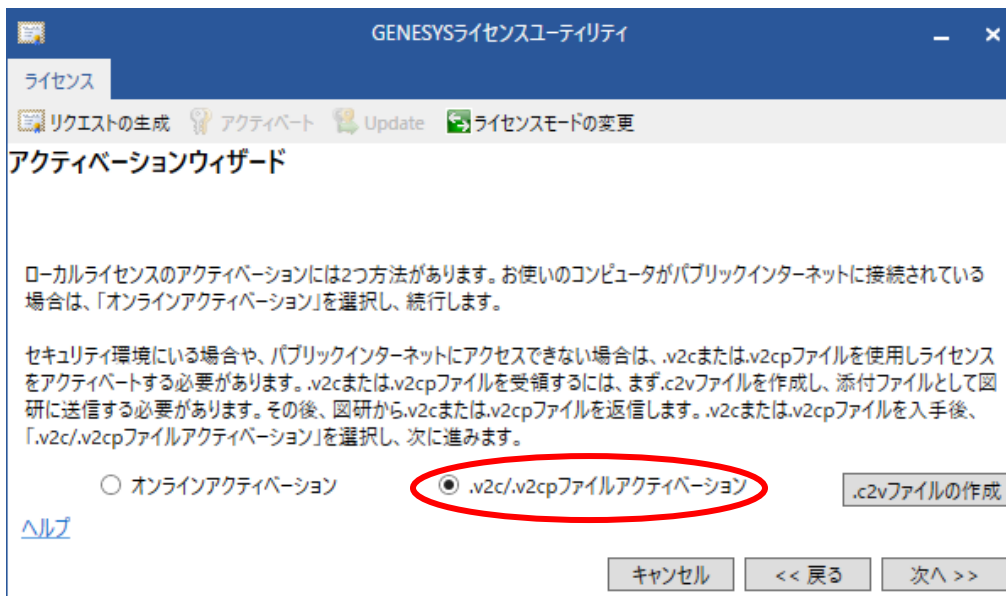


GENESYS インストールガイド

4. 図研から提供されたプロダクトキーを貼り付け、[次へ]をクリックします。

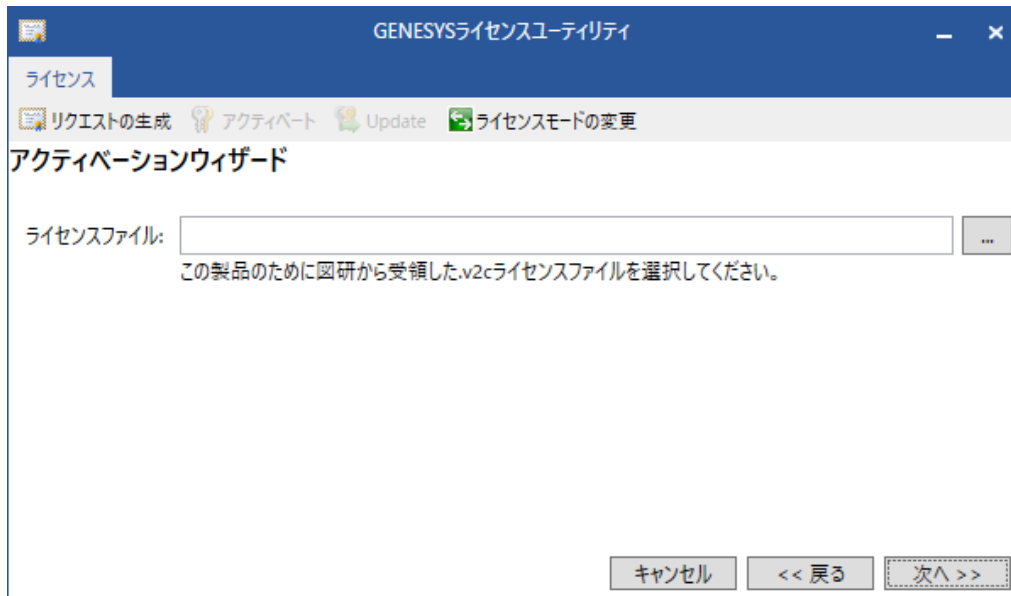


5. 「.v2c/.v2cp ファイルアクティベーション」を選択し、[次へ]をクリックします。

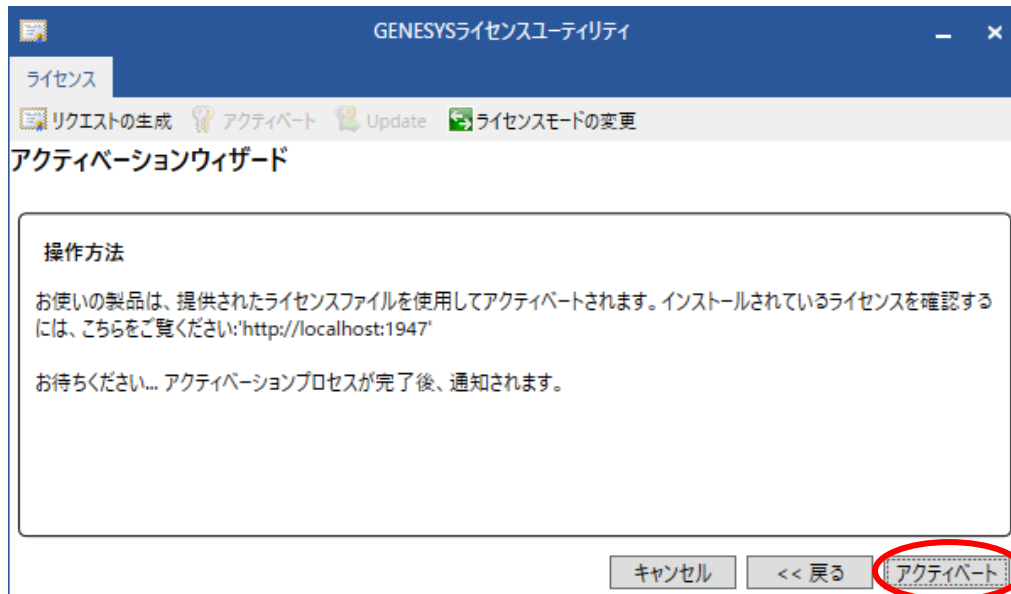


GENESYS インストールガイド

6. 発行された V2C ファイルまたは V2CP ファイルを開き、[次へ]をクリックします。



7. [アクティベート]をクリックして、プロダクトキーを適用します。



8. ソフトウェアが正常にアクティブ化されたことを示す確認メッセージが表示されます。

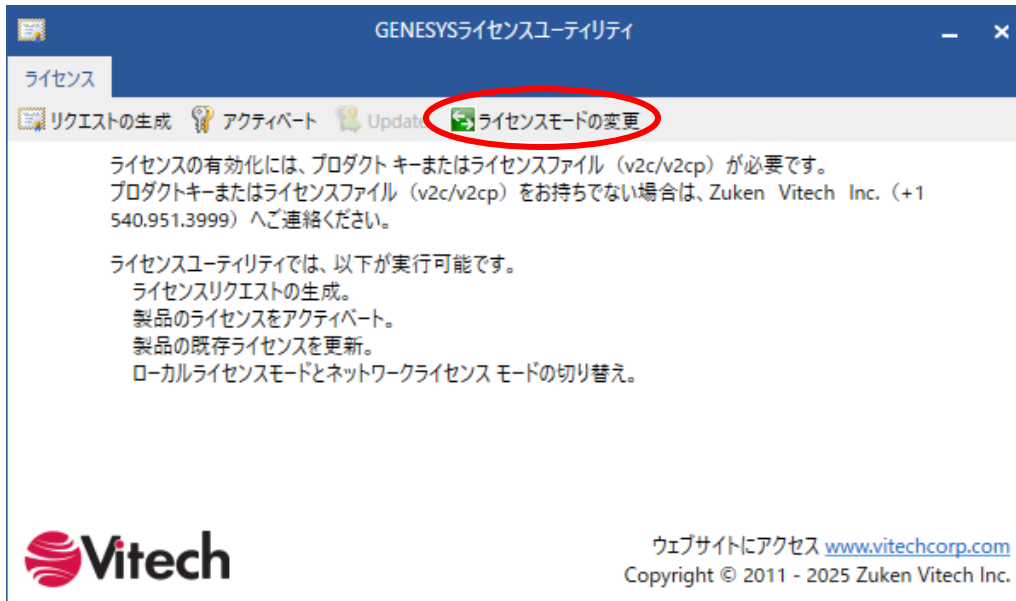
GENESYS Server ライセンスをアクティベートするための準備とアクティベート

1. スタートメニューから[GENESYS 2025 Server]>[ライセンスユーティリティ]を起動します。
2. **GENESYS ライセンスをアクティベートするための準備**、GENESYS ライセンスをアクティベートと同様にアクティベートしてください。

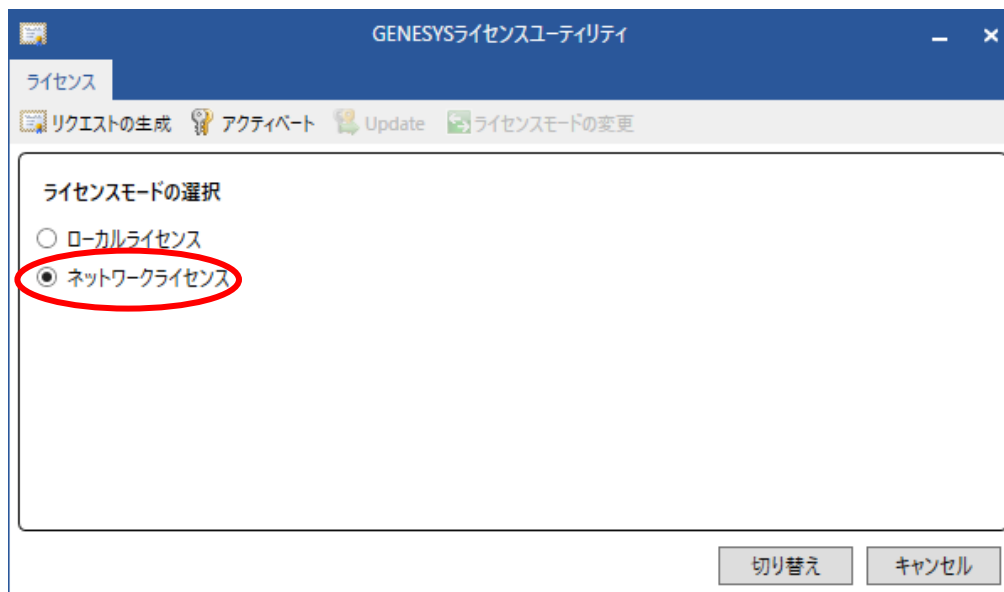
フローティングライセンスを使用する際の設定

フローティングライセンスを使用するためには GENESYS を使用する PC で、ライセンスを管理する PC を指定する必要があります。（GENESYS を使用する PC で操作する）

3. ライセンスユーティリティを起動します。
4. [ライセンスモードの変更]を選択します。

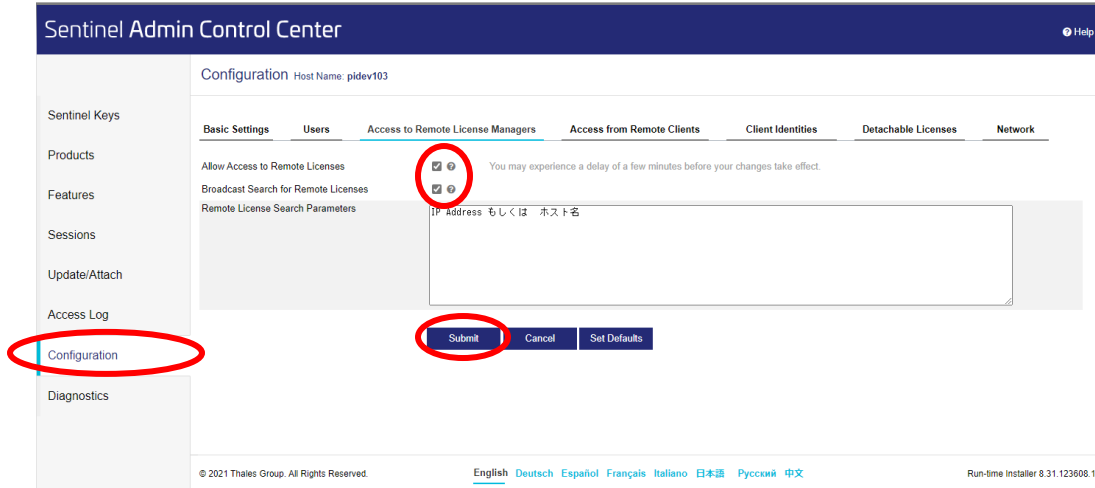


5. [ネットワークライセンス]を選択して、[切り替え]をクリックします。

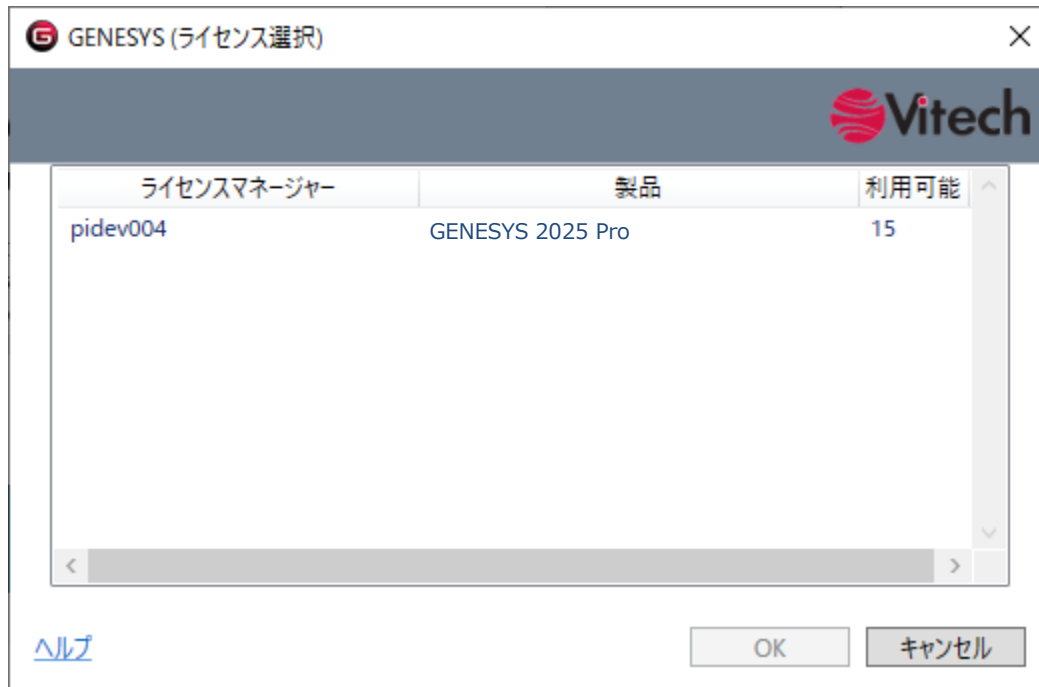


GENESYS インストールガイド

6. <http://localhost:1947/> に接続します。
7. 左の Options から Configuration をクリックします。
8. Access to Remote License Managers を選択し、チェックボックスにすべてチェックを入れ、ライセンスを適用した PC の IP アドレス、もしくはホスト名を記入し[Submit]をクリックします。



9. 数分経った後に、GENESYS を起動すると、ライセンス選択画面が表示されます。



ステップ 3 : GENESYS を始める

ここでは、GENESYS を起動してログインするために必要な基本的な手順について説明します。

GENESYS が正常にインストールされると、スタートメニュー内に「GENESYS 2025」という新しいプログラムが作成されます。

ローカルリポジトリへのログイン

1. GENESYS 2025 を起動。



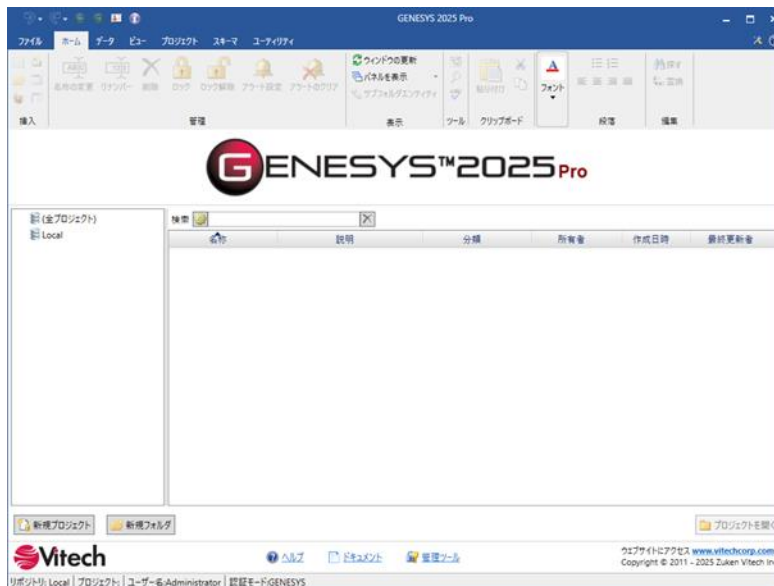
- ※ Microsoft Windows ファイアウォールが使用されており、ネットワーク対応ライセンスを使用している場合、GENESYS を初めて起動すると、ファイアウォールウィンドウが表示されます。ブロック解除を選択すると GENESYS ログインウィンドウが表示されます。
- ※ フローティングライセンスを使用している場合は、ライセンス選択画面が表示されます。使用するライセンスを選択してください。

GENESYS インストールガイド

2. GENESYS ログインウィンドウが開きます。ユーザー名とパスワードは大文字と小文字が区別されます。以下に示すように入力し、[OK]をクリックします。
- ユーザー名 : Administrator
 - パスワード : admin



- ※ デフォルトでは、GENESYS はローカルマシンにあるリポジトリにアクセスします。別のマシンのリポジトリにアクセスする場合は、次のセクション（リモートリポジトリへのログイン）を参照してください。

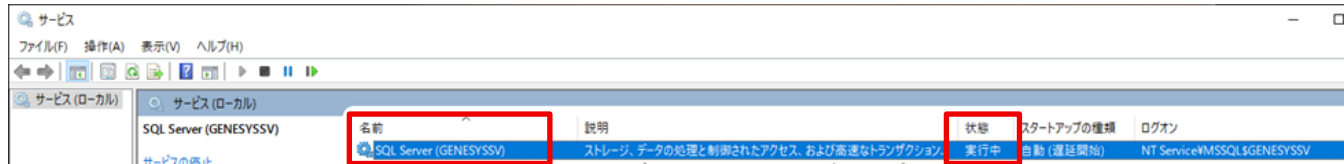


- ※ ログイン後、ホーム画面の下部にある [管理ツール] から新しいユーザーアカウント作成や、パスワード変更をすることができます。

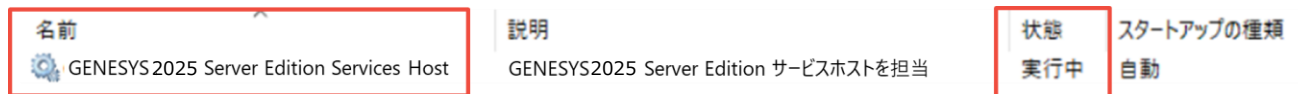
リモートリポジトリへログインする前の GENESYS Server の確認

GENESYS Server 関連のサービス起動

1. Windows 検索で「サービス」と入力して検索し、「サービス」を起動します。
2. サービス名「SQL Server(GENESYSSV)」が「実行中」であることを確認してください。



3. サービス名「GENESYS 2025 Server Edition Services Host」を「実行中」にしてください。



GENESYS Server のログイン確認

1. スタートメニューから[GENESYS 2025 Server]>[GENESYS 2025 Server Local Client]を起動します。

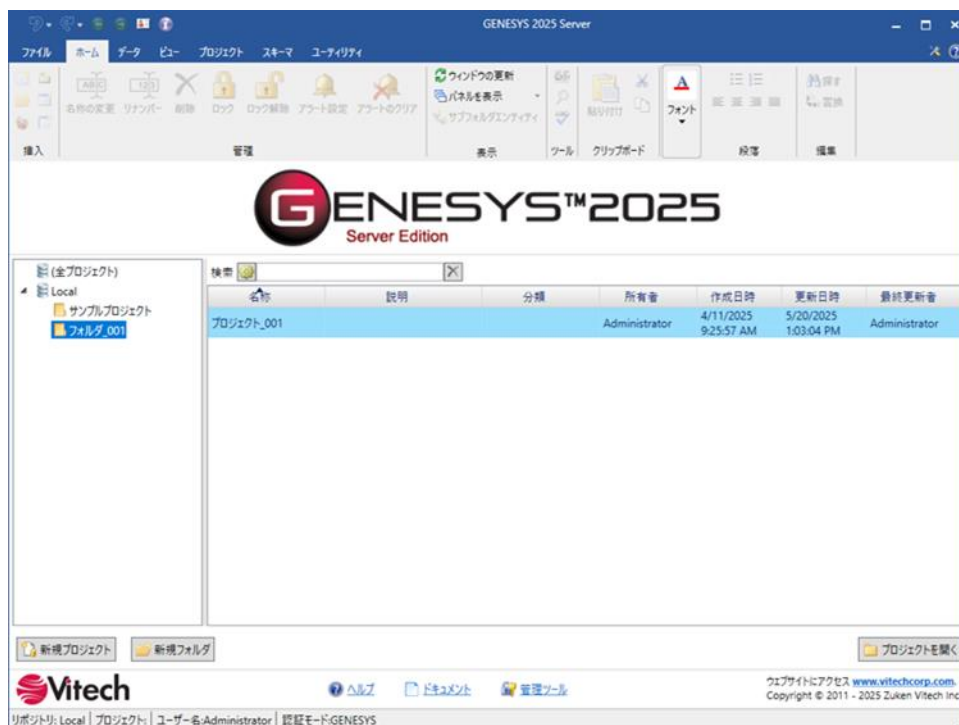


GENESYS インストールガイド

2. GENESYS ログインウィンドウが開きます。以下に示すように入力し、[OK]をクリックします。
 - ユーザー名 : Administrator
 - パスワード : admin



3. ホーム画面が表示されたら確認完了です。

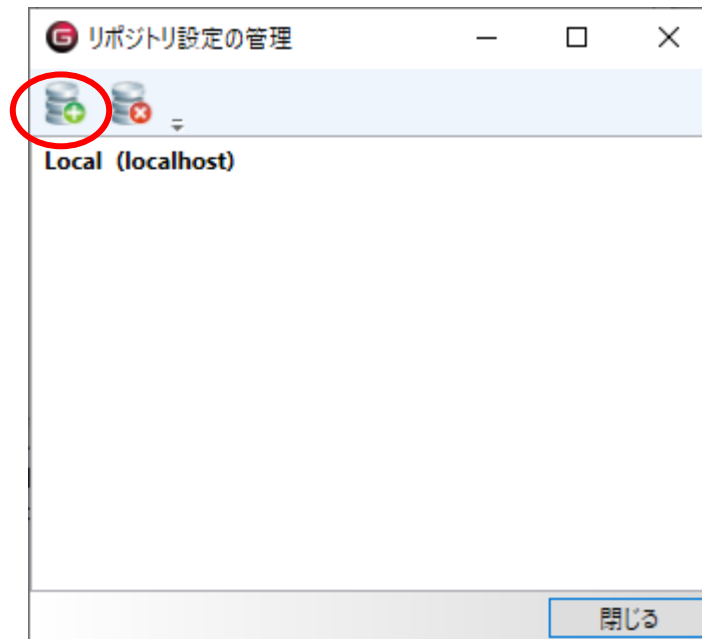


リモートリポジトリへのログイン

1. GENESYS のログイン画面で、リポジトリの横にある矢印をクリックします。
2. リポジトリ選択フィールドが表示されるので、プラグアイコンをクリックして、リポジトリを追加します。

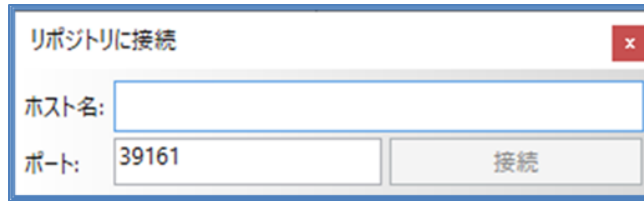


3. リポジトリの追加アイコンをクリックします。



4. リポジトリがホストされているマシンの名前を入力します。
※ ポートの指定は図研サポートから変更の指示がない限りデフォルト（39161）のままにしてください。

GENESYS インストールガイド



The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "リポジトリに接続" (Connect to Repository). It has a standard title bar with a close button (X). Inside the dialog, there are two input fields: "ホスト名:" (Host Name) which is empty, and "ポート:" (Port) which contains the value "39161". To the right of the port field is a button labeled "接続" (Connect).

5. [接続]、[閉じる]の順にクリックします。
6. ドロップダウンリストからそのリポジトリを選択できるようになります。

サポート

最新のサービスパックを確認する

定期的に Vitech Corporation は、GENESYS 製品アップグレードするためのサービスパック（SP）を提供しています。
（<https://www.vitechcorp.com/software-downloads/>）のソフトウェアページにアクセスして、最新のサービスがインストールされていることを確認してください。

GENESYS ヘルプ

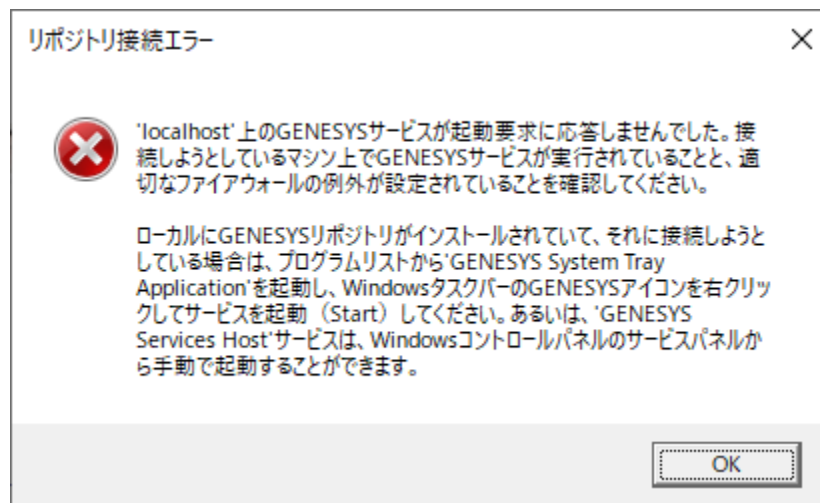
GENESYS ヘルプは、右上隅のヘルプアイコンをクリックして GENESYS 内からアクセスできます。

サンプルソリューション

GENESYS プログラムの Samples ディレクトリには、3 つのサンプルプロジェクトが用意されています。これらのファイルを GENESYS にインポートして、編集することができます。GENESYS API の使用方法を示す 2 つの API サンプルもあります。

リポジトリ接続エラーの対処

「使用するサービス」の記載のように、GENESYS の立ち上げにはサービスの起動が必要です。以下のリポジトリ接続エラーが発生した際には、GENESYS のサービスの起動状況を確認してください。以下の手順に従って GENESYS のサービスを起動することができます。



GENESYS System Tray Application を使用する

1. [スタートメニュー] > [GENESYS 2025] > [GENESYS 2025 System Tray Application]をクリックします。
2. システムトレイに GENESYS のアイコンが追加されます。
3. アイコンを右クリックし、[GENESYS サービス] > [スタート]をクリックします。
4. アイコンの左上が三角形の緑に変わったことを確認し、GENESYS を再度起動します。

Windows サービスパネルを使用する

1. Windows サービスパネルを起動します。
2. 「GENESYS 2025 Services Host」を選択し、サービスを開始します。
3. サービスの開始を確認し、GENESYS を再度起動します。

障害対策/復旧

GENESYS 2025 では、データは SQL Server によって管理されます。GENESYS ローカル リポジトリの SQL Server データベース ファイルは、C:\ProgramData\Vitech\GENESYS 2025\Data フォルダにあります。これらのファイルは、「GENESYS 2025 Services Host」サービスが実行中の場合、アクティブに使用されます。少なくとも、標準のファイル システム バックアップ ユーティリティを使用して SQL Server データベース ファイルをアーカイブする前に、このサービスを停止する必要があります。SQL Server のバックアップと復旧については、Microsoft の推奨事項に従ってください。

GENESYS がインストールされたマシンが故障したが、バックアップファイルを持っている場合に、次の手順に従ってデータを復元することができます。

1. GENESYS を故障したマシンの代わりにするマシンにインストールします。
2. サービス「GENESYS 2025 Services Host」(Genesys2025Svc)を停止します。
3. C:\ProgramData\Vitech\GENESYS 2025\Data に他のマシンにバックアップしてあったファイルを保存します。
4. サービス「GENESYS 2025 Services Host」(Genesys2025Svc)を開始します。

GENESYS Server のバックアップ/データ復旧

GENESYS Server のデータは、SQL Server によって管理されます。SQL Server のバックアップと復元に関する Microsoft の推奨事項に従う必要があります。

GENESYS バージョンアップの手順

新しいバージョンの GENESYS を使用するためには、ライセンスの更新が必要です。なお、旧バージョンで作成されたプロジェクトを新バージョンの GENESYS で使用したい場合は、事前にプロジェクトをエクスポートする必要があります。以下の手順に従い GENESYS 2025 を始められます。

1. ライセンスの更新

ライセンスは、同じ PC で更新する場合と別の PC で更新する場合の手順が異なります。

同じ PC でバージョンアップのライセンスを更新する

1. 図研 GENESYS サポートからバージョンアップの案内メールを受信します。
2. C2V ファイルもしくは Key ID のいずれを添付し、バージョンアップのライセンスを図研 GENESYS ライセンス発行窓口 (zj_shipping@jp.zuken.com) に申請します。

C2V ファイル取得

- ① GENESYS License Utility を起動します。
- ② [Generate Request] ボタンをクリックします。
- ③ C2V ファイルを保存します。

Key ID 取得

- ① <http://localhost:1947/> に接続します。
 - ② [Options] > [Products] をクリックします。
 - ③ [Product Name] が現在使用している GENESYS バージョンで、[Location] が [Local] の行の [Features] をクリックします。
 - ④ ページ上段に表示される Key ID を取得します。
3. V2C ファイルまたは V2CP ファイルを受領し、「**GENESYS ライセンスをアクティベート**」の手順で GENESYS をアクティベートします。

新しい PC でバージョンアップのライセンスを更新する

1. 図研 GENESYS サポートからバージョンアップの案内メールを受信します。
2. C2V ファイルもしくは Key ID のいずれを添付し、図研 GENESYS サポート窓口 (genesys_support@jp.zuken.com) に旧 PC のライセンス停止を申請します。

C2V ファイル取得

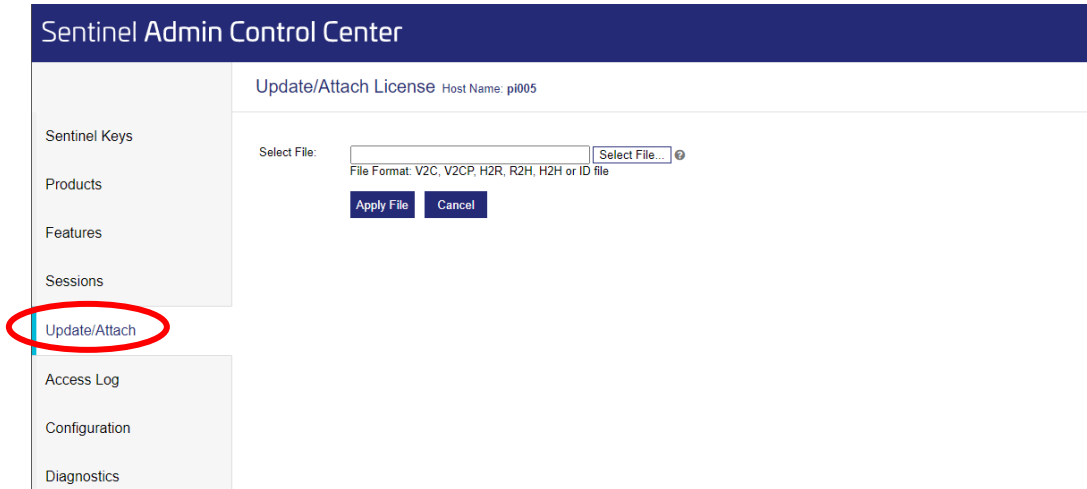
- ① GENESYS License Utility を起動します。
- ② [Generate Request] ボタンをクリックします。
- ③ C2V ファイルを保存します。

Key ID 取得

- ① <http://localhost:1947/> に接続します。
- ② [Options] > [Products] をクリックします。

GENESYS インストールガイド

- ③ [Product Name]が現在使用している GENESYS バージョンで、[Location]が[Local]の行の [Features]をクリックします。
 - ④ ページ上段に表示される Key ID を取得します。
3. 停止の V2C ファイルまたは V2CP ファイルを受領し、ライセンスを停止させる PC に適用します。
- ① <http://localhost:1947/>に接続します。
 - ② [Options] > [Update/Attach]をクリックします。



- ③ 受領した V2C ファイルまたは V2CP ファイルを選択し、[Apply File]をクリックします。
 - ④ 適用完了の旨のメッセージが表示されます。
4. 適用完了の画面を取得し、図研 GENESYS サポート窓口 (genesys_support@jp.zuken.com) に送付します。
5. 新しいプロダクトキーを受領し、GENESYS をアクティベートする新しい PC に GENESYS をインストールします。
6. 「**GENESYS ライセンスをアクティベートするための準備**」の手順で C2V ファイルを取得し、図研 GENESYS サポート窓口を送付します。

2. データの移行および GENESYS 2025 起動

GENESYS 2025 より前のバージョンで作成されたデータを GENESYS 2025 で使用するためには、リポジトリをエクスポートする必要があります。以下の手順に従ってデータを移行することができます。

※注意：GENESYS はバージョンが異なるアプリケーションの共存が可能です。バージョンが異なる複数の GENESYS がインストールされている場合は、サービスの切り替えが必要です。各バージョンの GENESYS System Tray Application を使用し、バージョンごとのサービスを切り替えられます。サービスの起動方法については、「GENESYS System Tray Application を使用するリポジトリ接続エラーの対処」を参照してください。

1. 移行元の GENESYS を起動します。
2. リポジトリをエクスポートします。
 - a. [ファイル] > [エクスポート]をクリックします。
 - b. エクスポートオプションを必要に応じて指定します。
 - リポジトリデータをすべてバックアップする際は、[フルリポジトリバックアップ]を選択します。

GENESYS インストールガイド

- c. [OK]ボタンをクリックし、リポジトリを gnsx ファイルで保存します。
3. 移行先の GENESYS を起動します。
※移行先の GENESYS がインストールされてない場合は、「**ステップ 1 : GENESYS 2025 のインストール**」を参照してください。
4. エクスポートしたリポジトリファイルをインポートします。
 - a. [ファイル] > [インポート]をクリックします。
 - b. gnsx ファイルを開きます。
 - c. 必要に応じてインポートオプションを指定します。
 - d. [Next]ボタンをクリックし、データをインポートします。

GENESYS のアンインストール

システムから GENESYS を削除するには、Windows のコントロールパネルから[プログラムと機能]を選択します。リストから GENESYS を選択し、右クリックメニューから[アンインストール]を選択し、アプリケーションを削除します。

- ※ GENESYS リポジトリは SQL Server によって維持されているため、この作業によってリポジトリ自体が削除されることはありません。別途削除する必要があります。
- ※ ライセンスを別のマシンに移動する目的で GENESYS をアンインストールする場合は、図研サポート窓口 (<https://support.zuken.co.jp/global/>) にお問い合わせください。

問題の報告/製品の提案

ソフトウェアに問題が発生した場合は、図研サポート窓口 (<https://support.zuken.co.jp/global/>) にお知らせください。

付録

GENESYS では、Microsoft .NET Framework 4.8 がコンピュータにインストールされている必要があります。

ほとんどのコンピュータには、既にインストールされていますが、インストールされていないコンピュータで GENESYS インストールを実行すると、警告が表示されます。

コンピュータがインターネットにアクセスできる場合は、自動的にインストーラーを取得します。インターネットにアクセスできない場合は、別途インストールする必要があります。

Microsoft .NET Framework 4.8 は、

(<https://dotnet.microsoft.com/en-us/download/dotnet-framework/net48>) からインストールすることができます。

GENESYS インストールガイド



Zuken Global Support <https://support.zuken.co.jp/>

本社・中央研究所／〒224-8585 神奈川県横浜市都筑区荏田東 2-25-1

GENESYS カスタマサポート窓口 genesys_support@jp.zuken.com